

『我堕ちて 修羅と君が世 淫雨 されど紫雲英よ万象の頃』

登場人物

◆聖（ひじり） 一人称『わたし』

本作の主人公 修羅の世界に男の心を持ちながら、体は女として生まれる

恋人の天命（あめのみこと）と愛の葛藤に苦しみながらも、宿敵の紅蓮（ぐれん）と戦い続ける

◆天命（あめのみこと） 一人称『わたくし』

聖（ひじり）の恋人 ヒロイン 修羅の世界に生まれた女性

母性溢れる女神のような優しさと品性を持ちながらも、家柄の都合により遊女として生きる

■紅蓮（ぐれん） 一人称『我』

修羅の世界に生きる最強の鬼

鋼鉄の身体に、様々な悪の術を使い、略奪、凌辱の快楽を求めて修羅界をのさばり、幾度となく、聖（ひじり）を殺し続けている

■刃（やいば） 一人称『僕』

天命（あめのみこと）と紅蓮（ぐれん）から産まれ、生まれながらにして全身に刃をはやしている。育ての親の聖に付き従い、聖と共に紅蓮を倒す旅に出る

◆嵐（らん） 一人称『あたし』

刃（やいば）の恋人

修羅の世界で唯一、争いを好まない不殺生の村に生まれた女性だが

母は紅蓮に犯されて、嵐（らん）を産んだため、鬼の血が流れている

殺意の感情が高まった時、血の涙を流した修羅の顔へと変わり、人格も変わる

修羅モードでは自らを嵐（あらし）と呼んでいる

■華佗仙人（かだせんにん） 一人称『わし』

嵐の村に住む村医者。一見ヤブ医者 of 雰囲気をかもし出す変わり者だが

その正体は仙人界に住まう、医術に長けた仙人。

死んだ者を生き返らせる秘術『反魂の術（はんごんのじゅつ）』を知っており

聖に反魂の術を授ける事で尽力する。

ひょうひょうと語尾を伸ばすのが特徴

■烈火（れっか）一人称『俺』

聖（ひじり）の息子。紅蓮（ぐれん）に犯されて孕んだ子であるため、鬼の血を引いている

炎の遺伝子を受け継ぎ、燃え盛る火炎を操る、双子の妹である吹雪が紅蓮に付いたため敵対してしまうが、吹雪の想いを理解しており
兄妹の関係を越えた感情を吹雪に抱いている

◆吹雪（ふぶき）『わらわ』

聖（ひじり）の娘。烈火とは双子の兄妹

凍える程に冷たい感情の持ち主であり、生まれながらにして、聖の宿敵である
紅蓮に付く事を選ぶ。烈火の炎ですら吹き消す吹雪を操る

◆弥勒（みろく）一人称『弥勒』

聖、刃、嵐、烈火による、陰陽の気から誕生した光の化身

極楽に行った魂を生き返らせる反魂の術を使い、修羅の世界から争いを無くすため聖を助けていく

■閻魔（えんま）一人称『閻魔』

紅蓮と吹雪から誕生した闇の化身

死体を犯す事で、冥府に行った魂を亡者として蘇らせる裏・反魂の術を使う、
紅蓮に従い、修羅の亡者を量産していく

■ 1章 第1場（1―1） 　　↓聖と命↓

聖　　わたしは・・・また堕ちてしまった、輪廻の輪からは逃れられず
　　堕ちた先は、日々戦いを強いられ血で血を洗う修羅の世界

修羅の者達による殺陣

聖　　この世界の住人は死ぬ事ができない、首を落とされても

修羅達　　ぐあああ！！！！

聖　　心臓を買かれても

修羅達　　ぐあああ！！！！

聖　　断末魔の叫びの後に、傷は次第に修復されて再び蘇る

修羅達　　覚悟オオっ！！！！

背後から修羅の一撃を交わす聖、交わしざまに修羅の心臓を貫く

聖　　今日は勝利を収めた戦いも、その敗者は蘇り

翌日はその者に寝首をかかれて殺される

修羅達　　死ねええっ！！！！

聖　　ぐあああ！！！！（両脇から刺される）

聖　　・・・だが・・・どれだけ無数に刺されようとも、
　　この身はほろびる事なく、また蘇る
解放される事の無い戦いの世界、修羅道

修羅　　聖・・・勝負だ！

1対1の戦い

聖　だが・・・その世界でも唯一、死の間際に魂が満たされた者のみが成仏できるのだという

何故だ？死ぬ事も無く戦いに明け暮れ、切り刻まれる激痛の中で一体どのようにすれば魂が満たされるというのか？

修羅　ぐはあ！

聖　はあはあ・・・どうせまた蘇り・・・

天の光のような音が響き渡り、聖にやられた修羅は昇天する

修羅　見事・・・

聖　なん・・・だと・・・なぜだ？ふざけるな！

嗚呼！わたしも死にたい！もう一人は嫌だ！
わたしも成仏させてくれえ！！！！

赤子　泣き声

聖　赤子の声・・・二人いるのか？

修羅　探せー！ガキを探せー！どけえ！

赤子　泣き声

聖　赤子までも殺されねばならぬとは・・・

赤子　泣き声

聖　ここか・・・

天命　お、お助け・・・下さい・・・

聖　大丈夫だ、私は敵ではない

修羅　ここにいたかあ！！！！

天命に襲い掛かる修羅を撃退する聖

修羅　ぐあ！

聖　怪我は無いか？

天命　ありがとうございます……

聖　なぜ、狙われている？

天命　……

聖　いや……答えなくていい……何か事情があるのだろう……

天命　申し訳ございません

光輝く音

聖　それはあなたの物か？

天命　赤子が生まれた時に与えた守護石です

聖　守護石か……(拾おうとする)

天命　お気を付けてください、片方は宝石ですが、もう片方は鋭利にとがっております

聖　宝石と……とがった石……

聖に激しい頭痛が襲う

聖　うああああ！！！！

聖の脳内に二人の子供が現われる

く幻覚く

子供　A　お父さん

子供　B　お父さん

聖　お？お父さん？……

子供　A　二人で小石を集めたの

子供　B　頑張って集めたんだよ、見て見て！

聖　あ……ああ、よく集めたね、見せて……らん

子供　A　はい！

聖　うん、七色に輝いて、まるで宝石のようだね

子供　A　本当？わーい

子供　B　僕のも見て見て！

聖　ああ、どれどれ……痛っ！！！！

な、なんだこれは……とがった石だらけじゃないか

子供　B　へへーかっこいでしょー

聖 危ないじゃないか！すぐに捨ててきなさい！
子供 B え？どうして？もつと触れていたいのに・・・
触れてええいたいのにイ！！！！！！
アシッドレイン！！！！！！

幻覚はさら激しくなるも現実へ

聖 うああああ！！！！痛い！痛いイ！溶ける！溶けるウ！

天命 お気を！お気を確かに！

修羅 いたぞオ！死ねえ！

聖 ぐはっ！！・・・ふふ・・・いつもいつも後ろから、ダセえ奴らだな・・・
おかげで目が覚めた

修羅を撃退するも深手を負い瀕死の聖

聖 こっちの痛みの方が・・・まだ楽だ・・・

怪我は・・・無いか？・・・

倒れ込む聖を抱き寄せる天命

天命 ごめんなさい・・・ごめんなさい・・・

聖 ・・・・薄れゆく意識の中・・・わたしは懐かしい香りに包まれた

主題歌

主題歌と共に今作のダイジェストPV

『火の鳥』 作詞…輪島貴史 作曲…あいあい

母なる海と 父なる空に 羽ばたく花鳥風月

眼に写る 景色の裏 幻影の 絵空事

耳澄まし 音色運ぶ かつての日 遠き声

香る風 紫雲英の花 あなたの胸元に 揺れる心 その身預けて

Uh 子供の頃に Uh 置いてきた夢 家族の味を 何気ない言葉を 求めていた

闘う日々と 嘆きの雨に 広がる花鳥風月 裏切りさえ 力に変え 一人飛び立つ

光と闇の 命を叫び 遍く花鳥風月 哀しみ纏い 聖なる 嗚呼 蒼き火の鳥になる

懐かしい あなたの声 誓い抜く 義理と義務

研ぎ澄まし 磨く刃 誰のため 何のため

安住を 求めずただ 憎しみの嵐も 守るために 受け止めて今

Ah 烈火の決意 Ah 吹雪の涙 家族のために あなたがついた嘘 気付いていた

定めのお吹 走る季節に 舞い散る花鳥風月 誰かのため 孤独選び 一人飛び去る

絆を紡ぎ 命果てれば 瞬く花鳥風月 役目を果たし 永遠なる 嗚呼 熱き火の鳥になる

母なる海と 父なる空に 羽ばたく花鳥風月 未来の羽 埃降らし 一人飛び立つ

幾千の星 時をも超えて 煌めく花鳥風月 世界を描き 輝く 嗚呼 燃ゆる火の鳥になる

繰り返す 繰り返す 雨の中 傘もせず

蘇る 蘇る 霧の中で 彷徨い 今 目を覚ます

第2場 (1-2) 宿敵 紅蓮

目覚める聖

天命 気が付かれましたか？

聖 ここは・・・遊郭・・・あなたは？

天命 ここでは天命あめのみこと・・・と、呼ばれております、

聖 ・・・・いい匂いだ・・・この香りは？

天命 この部屋は、紫雲英げんげの花をお香に使っております

聖 ・・・・いや・・・あなただ

天命 わたくし？

聖 あなたからは懐かしい香りがする

天命 戦いに疲れたのですね、心がとても辛そうです

聖 ・・・・もう少し・・・こうしていてもいいだろうか

天命 お気のすむままに・・・

抱き合う二人

聖 わたしの身体は・・・見ての通り女だ・・・でも・・・

天命 抱いてください・・・

背景の遊女達も舞いながら重なり合う

聖と天命の衣装は、はだけていく

紅蓮襲来

遊女達 紅蓮様が！紅蓮様が参られました！！

遊女が逃げ惑う中、紅蓮登場

天命 紅蓮・・・様

聖 紅蓮だと？

天命 この子達をどこか遠くへ・・・

遊女達 かしこまりました

紅蓮　ぬううう・・・はああ！！！！

雷が遊郭を襲い、炎に包まれる

紅蓮　逃がしはせんで、いる事は分かっている

聖　火の回りが早い！さあ！早く！

遊女　あああ！！！！

聖　柱がくずれる・・・伏せろ！

天命　聖！

赤子を持った一人の遊女は避難するも、もう一人は崩れた柱により逃げられない

遊女　ああ・・・

聖　こっちはもうダメだ・・・早く！その子だけでも！

そのまま北を目指せ！必ず迎えに行く！

天命　そんな・・・

紅蓮　天命よ！ここにおったか、どこに身をくらすようと無駄だ

ここも我が買い取ってやろう

溢れる大量の大判小判

修羅　おお！金だ！金だ！

遊女　紅蓮さま！

紅蓮　はっはっは！

聖　紅蓮！

紅蓮　おお、聖ではないか、何度も殺すうちに名前も覚えたわ

うん？お前、女だったのか（はだけた聖を見て）

違う！私は男だ！

紅蓮　はっはっは！知っておれば愛してやったものを

聖　ふざけるな！がは！

紅蓮　ふん、雑魚が・・・さあて

聖　赤子を返せ・・・

紅蓮　ふっふっふ・・・あーん

天命　な、なにを・・・

紅蓮　ははっ、飲み込むまでよ・・・ごっくん・・・

奪った赤子を飲み込む紅蓮

聖 化け物め……

紅蓮 赤子はもう一人いるはずだろう、どこだ？

天命 それは言えません……

紅蓮 ふん、まあよい……ゆっくり探してくれる、逃げるとすれば……

聖 させるか！

聖の刀が紅蓮を切りつけるも、鋼鉄ではじかれた音が響く

紅蓮 無駄！無駄！

聖 ぐはあっ！

紅蓮 優男とばかり思っておったら、女だったのか

聖 な、なにをする……

紅蓮 我が教えてやろう、抑えておけ

修羅 はっ！

聖 や！やめろ！

紅蓮 我自慢の槍を味わうがよい、ふん！

聖 ぐあああ！！！！

紅蓮 ははははは！貫かれた感想はどうだ！感想はどうだ！

聖 痛い……痛いイ……やめろ……抜いてくれ……やめろオオ！

紅蓮 最初はこんなものだ、痛みは次第に快樂へと変わりやめられなくなるぞ

聖 やめろお、気持ち悪い、やめろお……やめろおおおお！

紅蓮 ははははは！はっーはっはっはっはあっ！！！！

聖 うあああああ！！！！

紅蓮 どうおおおお！！！！

聖 う……う……

紅蓮 なんとも愉快だ、だがまだ私の槍は収まらない

紅蓮 さあ！天命よ、相手をしてもらおうか

聖 う……み……命……今……助ける……

天命 聖……ごめんなさい……

紅蓮様……今宵もあなたのお気の召すままに……

聖 そんな……嫌だ……嫌……だ……嫌だあ……

紅蓮 はっはっは、貴様ら恋仲であったか？

紅蓮 これは一興よ！はっはっはっはー！！

聖 みこと 命オオっ！……！！

紅蓮にされるがままに身を差し出す天命
遊女や修羅達が入り乱れながら激しく舞い踊る
舞が絶頂を迎えた時、天命は倒れる

紅蓮 どうだ？恋人が乱れ狂う様は？

聖 うう……う……

紅蓮 さあ、仕上げといこうか、聖よ、こいつの本性を知っているか？

聖 本……性？……

紅蓮 見せてやれ

天命 はい……わたくしの体は紅蓮様のものです

お好きなように……壊してください……

では！うらあ！

紅蓮 命！

天命 あああ！！もっと！もっと！

聖 え……

天命 もっと壊して！

聖 ああ……

紅蓮 飲め

紅蓮に差し出されたナニカを飲み込む天命

天命 ああ……

紅蓮 さあどうして欲しい

天命 首を……絞めて……

聖 え？

紅蓮 聞いたか、聖、これは我のものよ、天命！教えてやれ

天命 聖……命は……紅蓮様から離れられないの……かはあ！

紅蓮 死ねえ！！！！

天命 うぐええ！

絶命する天命

聖 命……命……

紅蓮　　ここからがさらなる極地よ

天命の死体をなおも犯す紅蓮

紅蓮　　女を犯し、殺す、殺した後もこうして弄ぶ

　　これほどの快樂が他にあるうか、はっはっは

聖　　き・・・貴様・・・殺してやる・・・

紅蓮　　無駄よ！無駄！私の肉体は誰にも滅ぼすはできん！

フラフラとなった聖の剣を胸で受け止める紅蓮

紅蓮　　はあ！

紅蓮の槍、横一線が聖の首を襲い、即死する。

紅蓮　　死んだか・・・はっはっは！は・・・血・・・だと？

紅蓮の胸元からかすかな流血

紅蓮　　こいつ・・・はあ！

死体となった聖の体を貫く

紅蓮　　何度でも殺してやる

　　↓生死の狭間、黄泉平坂↓

殺された遊女達が起き出し、まるで死者の国へと向かうように、無感情に歩き出す

聖　　ああ・・・この景色・・・この道を歩き、あの川を渡れば・・・

　　今後こそ安らかに眠れるのだろうか

屍の遊女がまとわりついてくる

聖　　うわああ！！はなせえ！ああ！！またか・・・またも行かせてもらえぬのか

　　この川を渡れば成仏できるのに！

この暗闇の牢獄で繋がれ、眠れる事なく1年の時が流れるのだ

聖 ああ！ああ！ああ！！！！

1年の精神世界が終わり現世へと戻る

修羅 なんだここは？屍だらけじゃないか

遊女 紅蓮様の遊郭へようこそ

修羅 店主が変わったのか

遊女 さあ奥へ

目覚める聖

聖 ああ・・・暗黒でただ過ごした時など・・・なんの意味があるというのだ・・・

天命 (手を握る)・・・

聖 命・・・すまない、私に力があれば・・・守ってやれたのに

一緒に・・・ここから逃げないか

天命 聖・・・ごめんなさい・・・私はここを離れるわけにはいきかないのです・・・

聖 苦しい・・・体の痛みより、心が痛い・・・苦しい・・・悔しい

あなたを・・・人を愛する事が、こんなに苦痛だとは・・・

天命は聖を胸元に抱き寄せる

聖 ああ・・・いい匂いだ・・・紫雲英の香りはあなたの匂い・・・

五感で感じる事が生の喜び・・・なのに、それが苦しみを生み出す

あなたと出逢わなければ、こんなに苦しい思いをする事はなかった・・・

それなのに・・・あなたといると苦痛が和らぐ・・・

もう少し・・・このまま・・・

天命の胸元からお腹へと顔をうずめた時、天命に嗚咽が走る

天命 うっ・・・

聖 どうした？命・・・

天命 わたくしのお腹は・・・あの方の子を宿しております・・・

聖 こ、ども・・・紅蓮の・・・子・・・

天命 うっ……

聖 ここ、ここにきて……さらに……孕ませられただとオオ!

紅蓮……紅蓮!!!!!!紅蓮!!!!!!
てめえを許さねえ!

修羅 無礼者!

紅蓮の遊郭の子分修羅が襲い掛かる

聖 うぜえんだよ!オラア!

屍の修羅がまとわりつく

聖 おお、また縛り付けるのか、そうか、そうだろうなあ!

今までおとなしく縛られていてやったのだからなあ!てめえがバカだったぜ!
誰が従うかってんだアホンダラア!

聖の無慈悲な殴打

修羅 ひィィ……

聖 調子に乗ってんじゃねえぞ!クソボケがコラア!

修羅の顔が原型を留めぬ程に殴り続ける

修羅 あぐう……あぶう……

刃 言いたい事はあるか?

修羅 助けてください……

刃 死ね

とどめの一撃

聖 はは……刃よりも、こっちの方が今の私にお似合いだ

この殺意が私をさらなる修羅へと墮としてくれる

修羅 か、か、かかれええ!!!!

聖 おらあああ!!!

拳、膝、頭突きと、泥臭い肉弾戦で応じる聖

聖 もう・・・誰にも止められねえよ・・・

命・・・行くぞ！ついてこい！

天命 はい！

聖は天命の手を引いて遊郭を連れ出す

修羅達 ひ・・・聖を追え！

第3場（1―3）
↳紫雲英の草原げんげくさほら↳

追いかける修羅達 逃げる聖と天命

天命 どこまで行かれるのですか？

聖 北へ、北へ走ろう、まだ雪の残る北の山岳地へ行けばきつと、安住の住処もあるはずだ
もう一人の子もきつとそこにいるはず

天命 はい・・・どこまでも・・・うっ・・・

聖 どうした？

天命 お腹の子が・・・今、出たいと・・・ああっ!!!

聖 陣痛か？もう少しだ、この林を抜ければ・・・

紫雲英の香り

天命 ・・・・紫雲英の草原げんげくさほら・・・

聖 私達の聖域だ・・・さあ、命よ、安心して産んでくれ
天命 でも・・・この子は・・・

聖 ・・・・大丈夫・・・あなたの子を愛せぬはずがない

天命 ありがとう・・・うっ！ああっ!!!

聖 呼吸をしっかり

天命 はいっ……ああああ!!
聖 う……っぐ……ぐ……ああああああ!!

く幻覚く

子供A ねえお父さん!

子供B お父さん!詩を作ったの

子供AB 聞いて!

子供A 水から生まれたのだろう僕たちは、鳴き声は海流となり、その涙は湖に

聖 素敵な歌だ、心が落ち着くよ

子供B 眼に写る 景色の裏 幻影の 絵空事

聖 え?

子供B 闘う日々と 嘆きの雨に

聖 うあ!

子供B ^{あんじゅう}安住を 求めずただ 憎しみの嵐も

聖 やめろ!耳障りだ!

子供B 繰り返す 繰り返す 雨の中 傘もせず

聖 そんな詩をうたうな!

子供B どうして?どうして歌っちゃいけないの?どうして?!

アシッドレイン!!!!

聖 うああああ!!また……あの幻覚がああああ!!

天命 ああああっ!!!

子供B あああああ!!

聖 き、消えろ……消えろ!幻覚め!

紅蓮の幻も現れる

紅蓮 そうだ!そうなるのだ、貴様はそうなるのだ

子供B 何が悪いの?好きになって 憧れて 愛しただけなのに

聖 私も何が悪い!求め!怒り、嘆き、悲しみ、何が悪い!はは!はは!

うおらああああ!誰にも止められねえよ!!!

紅蓮 そうなっていくのだ!強さを得た感想はどうだ?酔いしれろ!

聖 はははあああ!

天命 ああ!ダメっ!

聖 うっ!うぐう!

紅蓮　そして快樂の麻痺が次々に生み出すのは・・・破壊！

天命　ダメええええ！！

聖　俺の女にさわんじゃねえええ！！！！

紅蓮　その手で我を滅ぼした後、貴様に待っているのは強さよ！

天命　もうダメええええ！

子供A　ゆえに・・・墮とされた・・・

聖　ははあはは！

紅蓮　ははははは！

天命　ぎゃああああああああ！！！！

混沌とした幻覚の中、天命は出産する

聖　は・・・は・・・は・・・は・・・う、生まれた？

刃　あ・・・あ・・・あ・・・

聖　ああ・・・産まれた・・・幻覚じゃない、これは幻覚じゃない

この修羅の世に・・・また一つ、新たな命が生まれた・・・小さくも貴い、新たな生命が

刃の滅多切り

聖　うぐあっ！・・・幻覚・・・じゃない・・・

刃　うあああああんん！

聖　うおおお！刃が・・・幻覚じゃない！

全身が鋼の刃だとオ・・・

刃　うあああああん！！

聖　刃の遺伝子・・・紅蓮の・・・紅蓮の遺伝子か！

刃　おうあああああ！

狂気に満ちて聖に襲い掛かる刃

応戦しながらも抱きしめて刃を落ち着かせる

聖　ぐうう！！！！落ち着け・・・

刃　お、お・・・お・・・

聖　落ち着くんた・・・落ちつ・・・

刃 お・・・お・・・お父・・・さん・・・
聖 お父・・・さん・・・そうか・・・そうだな・・・
刃を生やした修羅の子よ、よくぞ生まれてくれた

お前の名は刃ほこだ

刃 やいば
刃・・・

聖 命みことあなたの子が生まれたよ・・・さあ、一目見て「らん」・・・

天命 ……(息絶えている)

聖 命みこと・・・命みこと・・・

刃 お母さん・・・死んだの？僕が・・・殺したの？

聖 いや、違う、命を賭してお前を産んだ喜びだ、自分を責めるな

ここは修羅の世・・・もうじき、母は蘇る

見ろ、この母の満ち足りた顔を・・・
満ちたりた・・・顔・・・まさか・・・

聖 まさか・・・そんな・・・命みこと・・・命みこと・・・

子供が・・・子供が生まれたのに・・・なぜだ・・・なぜだ・・・

刃 お母さん・・・

聖 子供が・・・生まれたのに・・・子供が・・・子供が・・・子供があああ！

鋼鉄の鬼から生まれた子・・・！！！！

あのおぞましき細胞が命みことをオオ……………紅蓮！紅蓮……………

刃 紅蓮？お父さん・・・紅蓮とは？

聖 貴様の・・・刃を生やして生まれた貴様の！

本当の父の名だー！！！！うああああ……………

修羅達 聖がいたぞー！打て！！！！

放たれた矢が刃の腕に当たる

刃 うあああ！

聖 うぐうっ！・・・ふっ・・・ふ

刃 お父さん・・・

聖 ふっふっふ・・・ぐっふっふっ・・・生まれながらにして・・・ぐっふっ・・・不運な子よ・・・

刃 お、お父さん……

聖 ぶふっ……例え全身が凶器に溢れていても……その年端もいかぬ体と技量^{うで}で

この修羅の世を生き延びられるものか……そうか……そうなるか……ぐっぶっぶ
ならば……ぐふう……ならばいっそ……!!

刃 おとうさん……

修羅達 打て……!!

刃に覆いかぶさるように背中^{うで}で弓を受ける聖

聖 ぐふうう!!させねえよ……

刃 え?お父さん……

聖 そうは……させねえよ……ならばいっそ……命^{みこと}……

刃 おとうさん!

聖 動くな、そのまま伏せていろ

修羅達 打て……!!

刃の前に仁王立ちし、正面から弓矢を浴びる聖

聖 ぐふう……!!

刃 お父さん!

聖 刃よ、このまま、北へ走れ、わたし達の呪われた縁^{えにし}に縛れる事無く、自由に生きよ!
その刃を磨き、強く生き抜くがいい!

複数の弓矢

聖 ぐおお!刃には……わたしの息子には指一本触れさせねえ!

刃 お父さん!

聖 刃……早く行け……気にするな……これはお前の母である命^{いのち}と
わたしとの義理によるものだ……

わたしは自らの義務を果たすだけ……刃……はや……く……

僕の名は……

聖 刃 ……

刃 僕の名は

聖 刃ア!!!!

修羅達 聖を殺せー!

刃 うおおおおお!

刃の覚醒

刃 我・・・刃

我・・・鋼はがねなり

我・・・罪人つみびと

我・・・最初の殺しは母

我・・・呪われし刃なり

我・・・父の名は聖

走り出す刃

刃 義理とは何か、義務とは何か、恩義、仁義、正義、この義という言葉が僕を
僕は生まれながらにして向き合った。

お父さん・・・あなたは憎き敵かたきの血をひく刃の僕を、息子と呼んで命をかけた・・・
この義には義を持って応えるのが僕の義務なんだ!

修羅へと立ち向かう刃

刃 獣は生まれてすぐにその足で立ち、外敵から身を守るために走り出す

修羅との戦い

刃 鋼鉄の化身である僕は、この刃が自在に操れる事を本能が教えてくれた
切り裂く時は鋭角の刃物、その身を守る時は、みねの厚い
鈍角の刃へと太くなる

修羅の攻撃を受け止める

刃 盾にもなるこの鈍角の刃は、守りだけではない

相手が切り刻んでも蘇る修羅ならば、その頭を骨ごと砕くまで

修羅達 うがががっ！！！！！！！！

刃の鈍角の殴打が、修羅達を襲う

一人の修羅に馬乗りになって殴り続ける刃

修羅 あぐう・・・あぐう・・・

刃 もう、誰にも止められねえよ

殴り続ける刃

そこへ修羅達を取り囲む

修羅達 そこまでだガキ！

下敷きになっている修羅が刃の両手を掴む

修羅1 はあはあ・・・捕まえたぜこの野郎・・・

修羅2 でかした、そのまま離すなよ

所詮はガキ、全員で押し包めばひとたまりもねえだろう

刃 ……罌粟けしの花弁はなびら・・・

修羅2 ああッ？

刃 罌粟けしの花弁はなびらのように小さな扇なんだ・・・真っ赤な扇の刃を

最初に走り出した時、空へ飛ばしておいた・・・

修羅 葉でもやってんのかてめえ！わけわかんねーんだよ！

刃 降りそそげ、『刃の淫雨』

上空へ浮かぶ花びらのように小さな扇状の刃が

農作物を駄目にする長雨の通称『淫雨』のように降りそそぐ

修羅達 うぎゃあ・あ・あ・あ・あ・あ

刃 あ、違った・・・刃が赤いんじゃないよ、

その体からあふれ出した血しぶきが、罌粟の花弁のように

真っ赤な色へと染め上げるんだ

修羅 う・・・ああ・・・

刃 言いたい事はあるか？

修羅 助けてください・・・

刃 死ぬ

上空へ飛びあがる刃

刃 『刃の淫雨く戯鷲沈く』

処刑台の巨大なギロチンの刃のように姿を変えた刃が修羅達の首へ落下する

静寂

聖 刃・・・

刃 ・・・・夢を見ました・・・おとうさん・・・

聖 僕は近い将来・・・あなたのために死ぬでしょう

刃 それがお前の背負った罪か？

聖 はい

刃の顔を殴る聖

聖 死んだ事もねえクソガキが舐めた事言ってるじゃねーぞ

刃 ぐ・・・
聖 近い将来じゃねえよ、今、ここで死ぬ
刃 ぐ・・・失礼します

殴り返す刃

聖 おうっ！

刃 自分の死に方くらい、自分で決めたっけいいでしょう！

聖 ガキがなんでも決められると思うな、ボケナスが

刃 生き方教えるのは親の仕事なんだよ

刃 生き・・・方

聖 死に方教える親がどこにいるんだバカ野郎

刃 うらああ！！

聖 殴り方も教えてやる・・・殴る時はなあ、もっと体重かけんだよ

刃 ぐう・・・おうらあ！

聖 きかねえよバカ、軽いな、軽いんだよ、クソガキ、こうだ！こう！こう殴れ！

刃 お父さん・・・ちよっと・・・やり過ぎじゃないッスか・・・

聖 はは、悪い、初めてなもんでして・・・痛かった？

刃 痛かったです

聖 ごめんね

刃 はい・・・ごめんなさい

聖 はい・・・っふ・・・ははっ

刃 ははっ

聖 はははっ

刃 はははっ

聖 はははははっ

刃 刃・・・

聖 はい

刃 北へ向かうぞ

刃 はい！

第2章 第1場 (2―1) 　　く刃と嵐やいばらん

谷間の村

M…祭太鼓

祭りの準備で賑わう村

村人

嵐らん！今日は祭りだというのに何処へ行くんだ？

嵐

葉草が切れてしまいましたので、風の谷へ行って参ります

村人

そうか、あそこの葉草「テト」は傷によく利くからなあ
だがあの葉草「テト」は食中植物で、虫はおるか、
人間にさえも嘔みつく、気を付けて行って来いよ

嵐

はい、いつてきます！ひゆるるるー

風の谷

嵐

この風の吹き荒れる谷に咲く食虫植物の「テト」

その力強き生命は、万病に効くとされる何処に咲いているのかしら……
あ、キツネのようなりす、葉草の元へと案内してくれるの？

ランランラララララン♪

あった！この隙間から手を入れて……あっ！テトに嘔みつかれた！
痛くない……痛く……ない

よし、いい子ね、じゃあ、お礼にこの石を……この石を……

海に捨ててえええ！！よし、嵐らんはテトを手に入れた！

あ、キツネのようなりすどうしたの？

聖と刃がゆっくりと歩いてきて、その場に倒れる

聖

うう……

刃

う……おとうさん……しっかり……う……

嵐

人？……こんなところに……怪我をしている……大変……
助けなきや……

村へ移動

村人C

こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー

聖

いえ……来たというより、足を滑らし、落ちてしまいました

村人C

こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー

刃

僕が不覚にも流れ矢に当りまして、それが原因で谷底に墮ちた
僕を助けるためにお父さんは身を挺して……

村人C

こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー

聖

全身の骨が折れて動けぬところに、そちらの娘さんが

村人C

こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー

刃

葉草まで飲ませて頂き、この村まで運んで頂いた次第で……

村人C

こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー

刃

お父さん！この人、この台詞以外与えられてないよ！

村人C

こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー

刃

おとうさん！！！！

聖

刃、お言葉に甘えて休ませてもらおう

嵐が部屋へと入ってくる

嵐

お身体の具合はいかがでしょうか？

聖

はい、おかげさまでなんとか……うっ！

嵐

無理をしないでください、お腹が肥大しています
ぶつけた衝撃で水が溜まっているのかもしれない、村長！

村長

どうしたー！！！！

村長が部屋へと入ってくる

嵐　　かくかくしかじか、このような薬を知りませんか？
村長　　任せとけー！

外へ走る村長

嵐　　あ、テトは万病の効くんだった、はいどうぞ
聖　　ごっくん、少し楽になった

刃　　あの

嵐　　なんでしょう

刃　　あちらが村長さん

嵐　　ええ

刃　　じゃあこの人は？

嵐　　この人は、村の入り口に立つ村人Cです

刃　　AとBはどこー？！

村人C　　こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー

　　よーきなさったー、よーきなさったー、よーきなさったー

村はずれ

刃　　手伝います、これを摘むんですね

嵐　　あ、それはアネモネだからダメ

刃　　じゃあこっち？

嵐　　それはデイジーだからダメ、

刃　　えーっと・・・

嵐　　はい、これ、四葉のクローバー（髪にさしてあげる）

刃　　あ・・・こんなに親切にして頂いて、ありがとうございます

嵐　　どうしてですか？

刃　　え？だって、こんな修羅の世に・・・

嵐　　修羅の世とは？・・・

刃　　まさか・・・デイジーにアネモネ、花言葉は『希望』『平和』・・・

嵐　　もしかして、ここでは争いが無いのですか？

刃　　はい

嵐　　互いに傷つけ合わず・・・

刃　　はい

刃 憎しみ合わず・・・
嵐 はい
刃 そうですか・・・そんな村があったとは・・・
嵐 あ、でも、この村は外の人々から嫌われているんです
嫌われている？
嵐 はい、普通の街というのは、多くの人達が行き交い、
互いに欲しい物を交換し合うそうですね、それが街だと聞きました
売ってくれー！
村人A 買ってくれー！
村人B でも、だからこそ、騙して、盗み、奪い
嵐 ウンババ！ウンババ！
村人達 そのために、傷付けて、殺し、殺される
村人達 ウンババ！ウンババ！
嵐 それが街なのだと聞きました
村人A タウン！
村人B シティ！
村人D デトロイト！
嵐 だから、この村の人達はそれを嘆いて、譲り合い、支え合い
助け合う事にしたそうです
村人A どぞどぞ
村人D いえいえ
村人B どもども
村人D いえいえ
嵐 そうしたら、街の人達から相手にされなくなって、無視されて
村人A ふーん
嵐 無視されて
村人B つーん
嵐 次第に奥へと追いやられて
村人達 カバデイ、カバデイ、カバデイ
嵐 この誰も来る事のない谷間の村へと移り住んだそうです
村人達 カバデイ、カバデイ、カバデイ
刃 そうだったんですか
嵐 だから街の人達は、こういった村を、部落とか同和地区とか呼ぶそうです
部落
村人A 同和に
村人B 同和に
村人D 村八分

刃 ぶ、ぶら・・・

嵐 部落です、部落

刃 分かります、それ差別用語・・・

嵐 でも、そんな差別はいけないと、立ち上がった人達の事を

部落解放同盟とかいうそうです

刃 そ、そうですか・・・

嵐 もっと昔はそんな差別を受けた人の事を「えたひにん」

とか言ったり、他にも「どもり」とか「めくら」とか「つんぼ」とか「きちがい」とか

も、も、もうそのへんにしておきましょう！！！！

刃 差別用語はよくないです！

嵐 いえ、私達がそんな目にあっただけなんですよ

自分のどもりを自分で吃音きつおんとか言うのも面倒だし

村人A ぼ、ぼ、僕は、お、お、お金よりも

村人B お、お、おにぎりの方が

村人D す、す、好きなんだなあ

刃 た、たしかに、どもりの方が言いやすい

嵐 だから歴史の解説として「めくら」とか「つんぼ」とか「きちがい」とか

言う分には問題は無いんですよ、皆さん、何を恐れてるんですか？

皆さん、何と戦ってるんですか？いちいち騒ぐ方が「きちがい」ですよ

村人達 無問題！（もうまんたい）無問題！（もうまんたい）無問題！（もうまんたい）

刃 うるせえ！きちがいみたいに騒ぐな！

分かりましたから！あなたが純粋で良い人だという事が分かりました！

もう行っていいよ！

村人達 カバデイ、カバデイ、カバデイ

刃 結論！この村はとても良いところです！

嵐 良かった！でも、あなたもとても良い人ですね

刃 僕が？

嵐 お父さんと仲が良いじゃないですか

刃 親と仲の悪い人間は信用するな

嵐 親と仲が良い人間は、自分が親になった時に家族を大切にする

刃 ・・・・そう教わりました

嵐 素敵な言葉だね・・・その言葉、お父さんから？

刃 ううん、村人Cから

嵐 他人なんだね！

刃 しかもさっきの「よーきなさった」しか言わない人だね！

嵐 お父さんいないから

刃 え？

嵐 お父さんも、お母さんもいない

刃 ごめん・・・事故か病気で？

嵐 最初からいない

嵐 ある日、この村に盗賊があらわれて、

刃 女の人をみんな襲って殺しちゃったの

嵐 その中で生き延びたのが、あたしのお母さん、

刃 でもその時に私を身ごもって、

嵐 あたしを産んだ時に死んじゃった、だから、

刃 お父さんもお母さんも最初からいない

嵐 そっか・・・僕と同じだね

刃 え・・・

嵐 僕のお母さんも、同じように襲われて・・・その時に僕を身ごもって・・・

刃 産んだ時に死んだ・・・だから・・・同じだね

嵐 じゃあ、あの人は？

刃 僕のお父さん、僕を育ててくれた、『本当のお父さん』

嵐 そうかあー、じゃあ、あたしと同じだね

刃 この村の人達は、あたしを育ててくれた『本当の家族』だから

嵐 そうかあー、君にはお父さんの他にも家族がいるのか

刃 友達になれるかなあ

嵐 なるよ、絶対！家族にもなるよ！あっ・・・

よろめく嵐を受けとめる刃

刃 大丈夫？

嵐 ・・・・ちゅっ・・・(フレンチ)

刃 え・・・

嵐 えへへ・・・なんでだろっ・・・初めてでした☆

刃 え・・・あ！

刃 村人C こ、こ、こ、こ、こ！

刃 村人C ああー！ごめんなさい！ごめんなさい！コラーって怒られる！

刃 村人C こ、こ、こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー

刃 村人C！

刃 えっと・・・その・・・かくかくしかじか
そういつたいきさつから、この村は争いが無いようです
そうか・・・良かったな
聖 はい、これでお父さんも安静にできるので良かったです
刃 いや、お前が、だ
聖 え？

聖 嵐らんという娘、いい子じゃないか

刃 あ、いえ、別に、それは・・・
聖 ははっ、からかっているわけじゃない、ちゅーはしたのか？
刃 はい、しました

聖 え？早っ！

刃 あ、でも、僕からじゃなくて、向こうからで、あ、でも

聖 それはたまたまで、向こうも初めてみたいだったから、別にそんな・・・
刃 ははは、良かったじゃないか

聖 男と女の関係は誰にも教える事ができない

刃 だからせめて・・・正直でいなさい・・・素直でありなさい

刃 相手に素直に、正直に・・・

刃 いや、自分にだ

刃 自分に・・・

聖 自分が言った事を後から嘘にはするなよ

刃 男と女ほど不安定なものはない

刃 だが自分が好きになったなら、何があっても好きでいろ

刃 間違っても自分から冷めたなんていうんじゃないぞ

刃 責任取るってそういう事だろ？自分に正直でいるってそういう事だろ？

刃 はい！

刃 行けるか刃？

刃 押忍！

刃 できるか刃？

刃 押忍！考えたらモンモンしてきました！刃！校庭走ってきまーす！

刃 晩飯には帰って来いよー

村医者登場

村医者 はいはい、失礼しますよー

聖 あなたは？

村医者 どうも、この村の医者ですー

刃 お医者さんいたんですか！

聖 早かったな

村医者 町医者は差別用語にあたるから村医者って呼んでね

もしくは開業医

刃 じゃあ村医者で

聖 素直な息子だ

村医者 おお、あなたが息子さん？うちの看護婦があなたに言いたい事があるようですー
刃 看護婦？

嵐登場

刃 嵐らん！

嵐 あたし、あなたが好きです！

村医者 思った事は口に出すタイプー

刃 自分に正直だね！ありがとう！僕も、君が好きだ！

村医者 同じタイプー

聖 うむ、お互いにそうなら答えは一つ！

村長&村人登場

村長 祝言だア！

村人達 おめでとウーう！

村人C こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー

刃 ありがとう！

賑わう村人達

村医者 はいはい、ごめんなさいねー、はい、お兄さん、お腹を見るねー

聖 すまない、どうやら谷間に腹をぶつけて水が溜まっているそうだが・・・

村医者 うーん、これ水じゃないねー、おめでとーう

聖 え？

村人達 おめでとう！

村医者 このお腹ねー、おめでただわー、おめでとう

村人達 おめでとう！

刃 おめでた？

嵐 赤ちゃん？

村長 祝言だあ！！！！

村人達 おめでとウーう！

村人C こーんな、チンケな村にー

全員 よーきなさったー

聖 黙れエっ！！！！！！！！

私が子を宿しただと？・・・では、それは紅蓮の子ではないかー！

村人 ぎゃあああ！

刃 悲鳴？

聖 ぐああっ！お腹がつ！！！！

嵐 大丈夫ですか？

村医者 陣痛が始まったー

聖 うう・・・こ、この波動・・・呼応するお腹・・・

紅蓮だ！紅蓮が近づいてくる・・・うあああ！！！！

村医者 あ、あの姿は、あの時の盗賊だー

嵐 盗賊・・・あああ・・・お母さん・・・

刃 そんな・・・じゃあ、嵐の母親を孕ませた盗賊とは・・・

聖&刃 紅蓮っ！！！！！！

村人達 逃げろオ！！！！盗賊が来るぞ！！！！

紅蓮登場

紅蓮 はっはっはー！女の匂いがするわ！この村には我の娘が

一人いるはずだ、娘よー！父親が会いにきたぞ！

可愛がってやるから出ておいでーはっはっはー

聖 ……娘すらも・・・自分の娘すらも犯すというのか！紅蓮っ！！！！

村医者 あんたは動いてはいかーん

刃 お父さん！嵐！二人は隠れていてください

村医者 わしはどうすればいい？

刃 3人も隠れるのは難しい、僕が紅蓮に切り込んだ隙にあなたは逃げてください！

村医者 なんじゃとー！医者が患者を残して逃げるなどとー・・・

言うてくれてありがとー！

刃 絶対言うと思ったー！

村医者 ずっと帰りがたかったんだよねー

今なら金曜ロードショー間に合うんで後はシクヨロー

刃 このヤブ医者があー！！

村医者 うわー、紅蓮の方へ逃げちゃったー

刃 お前！わざとやってるだろ！

村医者 たーすけてー

刃 世話のやける事を！

はあああ！！いでよ！刃！

『草薙の剣』

紅蓮 ぬ！この刃は・・・貴様、我の血を引いておるな！

刃 ああそうだ、あんたは血の繋がった他人だ！

刃の斬撃の数々

紅蓮 ぐう！おのれ！

刃 鍛えた刃を思い知れ！！

『天叢雲』

紅蓮 うぐあああつ！！！！「ふっ・・・

なるほど・・・貴様・・・天命の息子だな

私の肌をここまで傷付けるとは見事な刃よ・・・だが！

刃 とどめだ！

紅蓮 ふん！！！！

紅蓮の炎が刃を襲う

刃 うあああっ!!!

紅蓮 いくら研磨された鋼の刃でも、地獄の業火にはかなうまい!

うらあっ!!!

刃 ぐあああっ!!! 熱い・・・熱い・・・うああ!

嵐 刃あ!!!!

刃 嵐! 来ちゃダメだ!

紅蓮 そこにいたか、娘よ

僕が必ず守る! だから戻るんだ!

いや! そんなの嫌! 刃!

嵐・・・

紅蓮 ふふっ・・・そうか

貴様らの仲は睦まじいようだな、また一興思い付いたぞ

やめろ! 獣め! 鬼畜生が! やめろオ!!!!

聖ではないか、はっはっは! 残念だったなあ!

紅蓮 我の血の引いた者は生かしておけぬ

そうら! 燃え尽きるがいい!!!!

うああああああああ!!!!

刃 ・・・・(燃え尽きて倒れる)

ううっ・・・紅蓮っ・・・!

嵐 そんな・・・刃・・・刃あ・・・

紅蓮 まだ意識はあるだろう

我と娘のまぐわいを見届けるがいい!

いやああ!!!!

紅蓮 暴れても無駄だ! ふんっ!

いやっ!!! 痛いっ!!!

はっはっは! これ程に愉快な事があるうか!

いやあ!!!! 刃あ! 刃あ・・・

聞こえるか! 刃よ! 貴様のつがいは最高によい素材であるぞ!

貴様に与える事なく、我が破壊してくれるわあ!

・・・うっ・・・うっ・・・嵐・・・うっ・・・うっ・・・

えーん・・・ええーん・・・ええええーん!!!

紅蓮 はっはっは、刃! あの時の聖のように、ガキ同然に泣きわめいておるわ! はっはっは!!!

聖 紅蓮！貴様ア！！！！うっ！！！！うああああ！！！！

紅蓮 はっはっはー！！！！

聖 うあああ！！！！産まれる・・・産まれるウ！！！！

紅蓮 はっはっはあともう一付きで破壊されるぞオ！！！！

うるはああああ！！！！

嵐 あああああ！！！！！！

聖 あああああ！！！！！！

烈火の炎が紅蓮を襲う

紅蓮 うぐあああ！なんだこの炎はあ？！我以上ではないか！

聖 う、産まれた！・・・私の中から灼熱の炎が生まれた！！！！

烈火登場

烈火 オツケー！親父！ハローオお！ナイストウーミーチューウ！！！！

マイネームイズ烈火！

ヘイ！サノバビッチ！ファツキュー！ク・ソ・野・郎・紅蓮！

ブラザーのカタキだぜええ！ファイヤーダンスっ！

イツツ！シヨータイム！！！！フォー！！

紅蓮を焼き尽くしていく烈火

紅蓮 あぐあああああ！

嵐 紅蓮！許さない！許さねえ！

烈火 アニキイ！オネンネするにはまだ早いぜえ！

刃 嵐らんごめんなさい・・・僕は君を守れなかった・・・ごめんなさい・・・ごめんなさい・・・

嵐 男がメソメソしてんじゃねえ！

痛っ！

嵐 取られたら取り返しゃいいんだよ！やられたらやりかえしゃいいんだよ！

終わった事でクヨクヨしてんじゃねーぞポケコラア！

だ、誰ですか？

嵐 今は嵐らんじゃねえ！あたいは嵐あらしだ！あたいをこんな目に！刃をこんな目に合わせやがって

許さねえ！許さねえぞ！紅蓮！

斬撃の嵐が紅蓮を襲う

紅蓮 あぐあああああ!!!!!!

烈火 惨劇の嵐イ!!!犯された恨みで新たな人格が現われたー

修羅の血がアア!沸騰してやがるぜエエ!!!!マイシスターア!

行け!息子ども!紅蓮ぶっ殺せー!

聖 嵐!

刃 刃!

烈火 烈火!

三人 惨劇のオ

嵐 核

刃 分

烈火 裂!

爆発の嵐

紅蓮 うぐあああああ!うおおお、溶ける!・・・私の鋼鉄の体が、溶けてしまう!

蠟人形のように溶けてしまう!!!!!!

お前もオ!蠟オ人形にしてやろうかア!!!!

うぐあああ!!!!

ヒャーハツハツハア!ドウワハハハア!

身イの毛もよオーだつウ悪魔の芸術ツウフウー!

お前え!うるせえんだよ!

アウチ!痛っ!

全体を食い過ぎなんだよ!てめえ!芸術ツウフウー!じゃねーよ!

ソーリー・・・

でももう少した!

そう!もう少した!もう少して紅蓮を消滅・・・うっ!

ああああっ!もう一人!

え?!!!!

もう一人産まれるっ!!!!っ、冷たい!

おーっと!双子のシスター!ツインズ!

先に生まれて待ってたぜー、カモン!吹雪!

聖 紅蓮を越える鋼鉄の刃、惨劇の嵐に灼熱の烈火
そして全てを凍らせる極寒の吹雪
刃 紅蓮！最後の時だ！
嵐 てめえの遺伝子にてめえはやられるんだよ！
烈火 衝撃の結末だぜええ！

吹雪登場するも、烈火を裏切る

吹雪 はあああ！氷の霧ヶ峰エ！『うるるとさらら』
烈火 ってオイオイ！何やってんだ！吹雪！向きが違っただろ！

吹雪 俺の炎が消えちまうどころか！俺まで凍っちまうよおおー！
も一つおまけにい！いでよ、北極の風 『しろくま君』

烈火 絶対零度！凍る凍る！死ぬウー！
紅蓮 危ないところであつた

吹雪 パパ、大丈夫？
紅蓮 おお、助かったわ

吹雪 あとでお小遣いちよーだい
紅蓮 おお、たんまりやるぞ

吹雪 わーい！諭吉3枚！
烈火 ってオイオイオイ！何やってんだよ吹雪イ！

吹雪 後一步のところまで紅蓮を助けたアどういう了見だ？
腹の中にいた時から暑苦しいヤツね

烈火 未経験のチェリーボーイはお黙りなさい
紅蓮 なんだとオ？

吹雪 吹雪よ、我と共に来い
吹雪 はい、仰せのままに

聖 ま、待て吹雪！
吹雪 聖ママ、わらわは紅蓮パパに付いてくね

烈火 お達者で、ママ、バイバイ！はあ！
嵐 やべえ！みんな凍っちまう！シスター！二人で相殺だ！

吹雪 はあああああ！
刃 おとうさん！僕の後ろに！

吹雪と共に撤退する紅蓮

嵐 はあはあはあ・・・

刃 行ってしまった・・・

聖 吹雪・・・

刃 まさか・・・こんな事になるなんて

聖 衝撃の結末、みんな色々ショックだぜイ

聖 ああ・・・考えもしなかった

聖 吹雪・・・私は・・・ママなのか？

刃 そっちですか？

聖 ママじゃないわよ、わたしママじゃないわよ

聖 二丁目のイントネーションだぜイ

聖 烈火、私はママなのかパパなのか、どっちだ？

烈火 パパだぜイ

聖 でも！吹雪はママと言ったのよ！わたしママじゃないわよ！

烈火 どっちでもいいぜイ

聖 よくない！

烈火 いじけちゃったぜイ

嵐 分かります、ショックですよ

刃 あ？嵐らん

嵐 はい嵐らんです

刃 戻ったんだ

嵐 はい

刃 そ、そう

嵐 らん、と、あらし、どっちの方が好きですか？

刃 僕はまあ、どっちでもいいよ

嵐 どっちでもいいなんて言わないで！

嵐 どっちでもいいなんて言ってるじゃねーぞコラア！

怒りの嵐

烈火 おおっと！どっちでもいいって言われた怒りから修羅の血がア！

聖 刃ア！すぐに謝れイ！

刃 すいません！らんが好きです

嵐 でもあらしもヤバエっす、ばねえっす！マジっす！

嵐 そうなの？もう！男の優柔不断は女を傷付けるだけなんだぞ！

聖 そうだ！刃！女心くらい分かっておけ！そして女の私は傷付いたんだ！

烈火

女々しい親父だぜイ

聖

私は女だから女々しくくない、女々しいってのは男が・・・

烈火

あんたどっちなんだぜイ

刃

お父さん、娘に裏切られたショックは無いのですか？

聖

裏切られてない、ただの反抗期だ

刃

なるほど、母は強し、ですネ

聖

わたしは父親だ！母ではない！

烈火

もうどうでもいいぜイ

嵐

これからどうされるのですか？村人達は皆、

烈火

烈火の炎で火葬されてしまいました！

刃

お義姉ちゃん、俺一人のせいにはしないでイ

聖

一瞬にして廃村になってしまいましたね

烈火

ハイ！ソンね！よし、休憩！一旦飯を食ってから考えよう！

烈火

よっしゃー！

聖

家族で晩御飯だ

一同

賛成！

聖　　刃が生まれてから、あの激しい頭痛と幻覚は見なくなった
そして、嵐と出逢い、烈火と吹雪が生まれ、私は想像する時間が増えた
もし、命が生きていれば、この光景を見せてあげたいと願うようになった

刃　　嵐、それなーに？

嵐　　この村の郷土料理、石狩首ナデシコ七変化鍋です

刃　　うわぁ・・・お、美味し・・・そう・・・

嵐　　あぁっ？

刃　　美味しそう！

嵐　　うん！みなさーん！ご飯ができましたよー

聖　　おお、もう腹ペコだ・・・おおっ！

刃　　おとうさん！

嵐　　あ？

聖　　なんだこの緑と紫の物体は！

刃　　この村に伝わるカリクビナデナデシコシコ・・・

嵐　　石狩首ナデシコ七変化鍋です

刃　　そう！それ！

聖　　おお、美味しそうだなあ・・・

刃　　はい！

烈火　　いやー腹減ったぜ・・・おおっ！なんだこのテナガを全種類そろえたみたいな物体は！

刃　　烈火ア！ウラゴラア！黙って食べエエ！！！！

烈火　　わ、分かった、兄貴、その刃をしまえ、モグモグ、あ、美味い

聖　　うん、イケる

刃　　イケますね

烈火　　家族の食卓ってのはいいもんだなア

刃　　言葉にできない暖かさがありますね、おかわり

烈火　　俺もウ！

嵐　　はいはい、たくさんありますよ

刃　　ご存知ですか？家族でしっかりと朝食を取る家庭の子供は

性体験が遅く、逆に、性体験の早い子の家は家族で朝食を食べる

習慣が無いんだそうです

烈火　　なんだとオ、俺アもう、このメンツで朝食は食べねえぞ！

刃 あくまで統計の話です、初体験を焦ってはいけません
烈火 お前にいわれたくねエヤ！
刃 失礼な！もうじき・・・もうじき・・・
嵐 もう！刃つたら・・・っポっ・・・
烈火 よし！俺も！俺も混ぜろ！
嵐 まさかの2対1！
刃 烈火ア！ウラゴラア！黙って見てろオ！
烈火 わ、分かった、兄貴、その刃をしまえ
嵐 女優さん入りまーす！
烈火 新人男優さん入りまーす！
刃 よ、よ、よ、よろしくお願ひします
聖 この光景、お母さんにも見せてあげたかったなあ
嵐 チェリーボーイズによる初体験の話ですか？
聖 いや、この食卓の光景だ、なんでもないこの光景こそが幸せなんだ
村医者 生きていて欲しかったかーい？おかわりー
聖 はい、願わくば
村医者 生き返れるよー、おかわりー
聖 そんなバカな話が
村医者 あるんだよー、おかわりー
烈火 食い過ぎだろ
村医者 はんこん反魂の術を使えば死んだ者は生き返るー、おわかりー？
一同 はんこん反魂の術ウ？
村医者 おかわりー
烈火 させねーよ！おかわりー！
嵐 仲良くお食べー
刃 あ、あなたはさっきの、患者を残して逃げたヤブ医者！
村医者 金曜日ドショー見終わったから、やってきたよー、ジブリで一番好きなのは
烈火 『紅のメス豚』
刃 メスいらなくねえ？
烈火 『紅の豚』ですね。
嵐 あたしは『魔女の宅急便』が好きです。
村医者 『痴女の宅急便』は女の子に人気あるよねー
烈火 やらしくなってるよオ
刃 女性は『魔女の宅急便』男性は『紅の豚』と、性別で好みが見られるみたいですね

村医者 おお、そういう子供、男と女の双子だってー？いやはや無事に産まれて良かったなー
反魂の術で母ちゃんが生き返れば、完璧だよなー
刃 反魂の術？お父さん！
聖 ああ！ヤブ医者！反魂の術について、詳しく教えてくれ
村医者 うむ、あの山を越えた先にはー、仙人の住むー、霞かすみの谷があるー
刃 修羅界との間にあるという仙界ですね
村医者 そこに住む華佗仙人がー死者を生き返らせるー反魂の術の秘密をー
知っているそうなー
烈火 お伽話か何かじゃねえのかイ？
嵐 いえ、私、あった事ありますよ、華佗仙人と
聖 本当か！
嵐 はい、華佗仙人は医術にも優れているので、薬草の知識や
お薬の調査でお世話になってます
聖 じゃあお前この村にいらないだろ！ヤブ医者！
村医者 医者はいつでもー、近くにいた方がー、いいだろー
刃 ご存知ですか？昔の人は、いつでもいる医者の事をヤブ医者と呼んだんですよ
一同 へえー
刃 本来、名医は留守である事が多いのです。
なぜならば、遠く険しい場所に咲く薬草を取りに行っているからです
一同 ふむふむ
刃 ヤブ医者くすりやのヤブとは草藪くすりやぶの事で、いつでもいる医者は、
薬草を身近な草藪の雑草で済ませているんじゃないかと揶揄されたのが、
ヤブ医者くすりやの語源です。
一同 なるほどー
烈火 確かに、いつでもいる医者よりも、留守が多い医者の方が
腕が良さそうないメージがあるよなア
刃 あくまで語源ですからね、できればお医者さんはいつでもいてくれた方が
助かりますよね
烈火 俺はメガネをかけた看護婦さんに診察してもらいてえなア
刃 なんの診察ですか
嵐 看護婦さん入りまーす
刃 か、患者さん入ります
烈火 よし！俺も！俺も混ぜろ！
嵐 まさかの2対1！

刃 烈火ア！ウラゴラア！黙って見てろオ！

烈火 わ、分かった、兄貴、その刃をしまえ

聖 この光景、お母さんにも見せてあげたかったなあ

嵐 チェリーボーイズによる初体験の話ですか？

聖 いや、この食卓の光景だ、なんでもないこの光景こそが幸せなんだ

村医者 だから生き返るんだってばー、反魂の術でー

聖 そうだった！やっべー！ループするところだった！今すぐ行こう！

刃、烈火！いまずぐ鍋を平らげろ！

刃&烈火 たいらげゴツクン！

嵐 嘆きの健康優良児！

聖 さあ出発だ！命みことを生き返らせる反魂はんこんの術のために、あの山の向こうにある仙界へ！

村医者 発射！

第3章 第2場（3―2） ㄱ仙界ㄱ

靄が立ち込める

聖 山を越えて、この谷に足を踏み入れた時からもやが立ち込めた

ここが仙人の住む、霞の谷……

そのもやは、次第に濃くなり、気が付けば周囲が見えぬ程に

なっていた……刃！烈火！嵐！……

皆とはぐれてしまったようだ……無事でいてくれればよいが……

空間を上下手に分ける

刃 ここが仙界、なんて濃い霧だ……みんなどこに行ったんだろう……

嵐 お義父さま！

聖 おお、嵐（らん）！

嵐 よかった……刃とも離れてしまい、心細かったです

聖の胸元へかけよる嵐

烈火 刃ア・・・ここにいたかよオ

刃 なんだ烈火か・・・

烈火 なんだはねえだろう兄弟イ、一人は心細かったぜエ

刃の後ろから抱き着く烈火

聖 実は私もだ、子を持つ親になっても、まだまだ弱いものだな

嵐 いえ、その弱さが、お義父さまの強さだと思います

あたしはその強さに安心できます

刃 どうしたんだよ烈火、そんなに甘えん坊でしたか？

烈火 さみしかったんだよオ

刃 実は僕もだ

烈火 二人して寂しがり屋だなア・・・

聖 娘よ・・・これからも守り続ける・・・わたしは・・・わたし

は・・・

お前を抱きたい

え？

あ・・・いや・・・バカな・・・なんだ？この想いは・・・

刃 や、やめろ烈火・・・耳元に口を近づけないでくれ・・・息がかかる・・・

烈火 こういう事かいイ、っフー・・・

刃 ふアアあっ！

烈火 弱点めーっけエ・・・

聖&烈火 抱きたい

嵐 抱きたい・・・抱っこの事ですか？

刃 僕の事を？

嵐 でもあたし・・・重いから・・・

刃 僕らは兄弟じゃないか

聖 ああ・・・無邪気な嵐らん・・・

烈火 純粋な刃・・・

聖 お前を・・・

聖&烈 抱きたい！

聖が嵐の唇を奪い、烈火が刃の唇を奪う

嵐 んんっ！・・・お・・・義父さま・・・どうして・・・ああ！

刃 ・・・・んんっ！れ・・・烈火・・・ダメ・・・ダメ・・・ああ！

聖&烈火 呼吸のために一度は離すも、再び逆方向から深く口づけ

聖 嵐らん・・・

烈火 ・・・・兄貴イ・・・

嵐&刃 んんっあ・・・

聖 言葉ではダメと言いながらもその身体はわたしを受け入れて
いるようで、わたしの鼓動はさらに高まった、わたしは今、
完全に欲情しているのだ

烈火 なんの事はねエ・・・俺が今やっているのはただの欲望

自分がやりたい、出したい、侵したい

兄貴を支配したい、独り占めしたい、こいつは俺のもんだ

なんだよ、この気持ちは・・・

聖&烈火 紅蓮と同じじゃないか・・・

聖 誰かのものを無責任に手を付ける興奮

烈火 人のモンだと分かっているからいいんだよ

嵐 刃……ごめんなさい……

刃 嵐……ごめんよ……

聖&烈火 ほら、もっと謝らないと

刃 嵐！ごめんよー！

嵐 刃！ごめんなさい！

聖 ああ、たまらない！

烈火 たまらねエ！

聖&烈火 お前は今！誰のモノなんだ！言ってみろ！

刃 烈火……

嵐 ……お義父さま……

刃&嵐 のモノです……

聖&烈火 はっ……はははは……

烈火 わかっている……わかっているぜ、ちゃんと返してやるよ

聖 俺だって、こんな事、いけない事だって分かっているんだ

互いに倫理と道徳があるからこそ生まれる背徳感……

わたし達は今、この背徳感を共有しているのだ

俺達は、果てるまで何度も抱き合い

仕切りの無い、この霞の部屋で身を重ねた

聖

霧がおさまる

聖 おお……刃

刃 あ……お父さん、ここにいたんですか、嵐らんは？

聖 さっき一緒になったぞ

嵐 あ、刃、良かった無事で

刃 嵐も無事でよかった

聖 わたしがしっかりと守っておいた

烈火 俺達も二人なら怖いものなんて無かったぜエ

刃 ま、まあね、とにかくこれで無事に合流できた事だし、

仙人 仙人を探そう

仙人 ここにいるよー

刃 わ！いつのまに！

聖 　　いつからいたんですか
仙人 　　ずっと見てたよー
嵐 　　え？ずっと
仙人 　　ずっと見てたよー
嵐 　　えええ？
仙人 　　さっきの霧はわしが術で作ったんだよー
烈火 　　なるほど、高見の見物ってわけかい・・・
　　っていうか、この仙人、あのヤブ医者に似てるぜエ
　　本当だ、似ている
仙人 　　わしは華佗仙人だよー
聖 　　華佗とは医術の天才とよばれた・・・
仙人 　　仙人だよー
聖 　　あの三国志にも登場した
仙人 　　仙人だよー
刃 　　好きなテレビは
仙人 　　金曜ロードショーだよー
刃 　　ヤブ医者じゃねーか
聖 　　ジブリ映画は？
仙人 　　金曜ロードショーで見るよー
刃 　　ヤブ医者じゃねーか
烈火 　　偽物って事かいイ？
嵐 　　こんにはは仙人様
仙人 　　こんちはー
聖 　　本物なのか？
刃 　　嵐、この人が華佗仙人？
嵐 　　はい、間違いなく
仙人 　　仙人だよー
聖 　　あの村医者ではないのか
嵐 　　え？そうなんですか？
聖 　　似てるを通り越して、一緒でしょ
嵐 　　気付かなかったー
刃 　　なんて純粹な子なんだ
仙人 　　お医者さんはいつでもいた方がいいでしょー
烈火 　　なるほど、仙人が医者のおふりをしていたって事かい
刃 　　なら、あの場で教えてくれれば・・・
仙人 　　仙界にいないとできない術もあるからねー

聖 そうだ、仙人よ、どうかわたし達に、反魂の術を授けて頂きたい、決して命を軽々……
仙人 いーよー
聖 早っ！
仙人 いーよー
聖 早っ！
仙人 いーよー
聖 早っ！で、では、どうすれば
もうその準備はできてるよー
刃 え？準備はできてる
仙人 さっきのお前さんらの交わりがその儀式だよー
刃&聖 え？交わり？
仙人 あの霧を吸い込むと、淫らでやらしい気持ちになるんだよー
全員 やっぱりか！おかしいと思ったんだよー！

仙術が立ち込める

仙人 仙術とは陰と陽の気なりたつておーる
女が陰で、男が陽、光と影のように、表裏一体の気ー
それが『陰と陽』であり、反魂の術はその奥義ー
陰と陰、つまり女と女、つまり卵子と卵子
陽と陽、つまり男と男、つまり精子と精子
その陰陽の気がさらに融合して生まれるからー、
最低でも男女4人が必要なんだよねー
ほれそこに、浮いておるのがそうじゃー

神秘なる魂

聖 本当だ、神秘なる気が満ちている
刃 それよりも僕の頭は、交わりの方に気がいってしまっ
聖 ああ、私まだ
刃 お父さん、まさか嵐と
聖 刃、まさか烈火と
嵐 ああ、どうなってしまうのかしら
烈火 修羅場だぜイ
聖&刃 興味ある！
嵐&烈火 あんのかーい！

刃 お父さんと嵐がそんな事に！ああ、ネトラレ最高！略してNTR！
聖 私も気になる、刃、烈火、ボーイズラブやっちゃったの？
刃 略してBL！BL最高！どっちがどっちの役なのか知りたい
聖 しかし息子の息子事情に触れてはいけないような親心も
刃 お父さんと嵐がNTR！ああネトラレいいかも
聖 烈火とだったら耐えられなかったかもしれない、だがしかし
刃 お父さんとなら・・・有りだ！ああ、悔しい、妬ましい、でも！いい！
聖 刃！いいのか
刃 うん！いい！だって霧のせいだし、それに・・・
聖 刃よ、すまん、私と嵐はそういう関係なのだ
嵐 刃、ごめんなさい
刃 はううあア！いい！悔しい！もどかしい！でも！いい！この葛藤がいい！
烈火 この親子は似た者同士だぜイ
聖 で、どっちが受けて、どっちが攻め？教えてBL兄弟！
刃 言えません
烈火 シーだぜい
聖 ああ！気になる気になるぞ！息子達！
嵐 あたしも知りたい！
刃 絶対に言えません！
仙人 もういいかいー、儀式の続きだよー
嵐 ああ、気になるのにー
仙人 あんたら4人の近親相姦でできたこの陰陽の気がねー
聖 ああ言っちゃった・・・
刃 はつきり言っちゃった・・・
仙人 反魂の術を使う新たな命を創り出すんだー
烈火 なんだっつてイ
刃 新たな命？
仙人 ここにねー修羅界から逃げ伸びてきた小さな赤んぼがおってねー
聖 ああ！やはり！無事だったか！
烈火 知ってんのかい？親父イ！
聖 かくかくしかじか！
全員 なるほど！
仙人 でねーこの子の肉体にその気が宿りー
聖 この赤子をねー、そこに入れてー
どうですか？

魂の融合 弥勒登場

弥勒 ばーぶ

全員 おおー

聖 玉のような子どもが

弥勒 だーば

嵐 かわいい！玉のようにコロコロ、パース

弥勒 ばーぶ

刃 きゃわいい！玉のようにコロコロ、パース

弥勒 パース、ばーぶ、さーぶ、れしーぶ

烈火 トース！アタック！

聖 やめろ！烈火、球のような子を打つな！

烈火 あっぶねー！つい打つとこだった

弥勒 コロコロ、コロコロ

聖 玉のようにコロコロ

弥勒 ばーぶ

聖 ばーぶ

弥勒 ばーぶ、パース

聖 ランディ

弥勒 パース、かけふ

聖 岡田

嵐 槇原果然！阪神タイガースホームラン3連発！

聖 打てー！

刃 やめてーおとうさん！球のような子だからって打たないで！

聖 あっぶねー！つい打つとこだった

刃 なんて不思議な力なんだ！

弥勒 ばーぶ、ばーぶ、ハハっ

烈火 おい今こいつ鼻で笑ったぞ！

刃 落ちて着け烈火！仙人様、話を進めてください

仙人 そんなでねー、この中のー、誰かのお腹に宿るからさー、元気な子を産みなよー

聖 そういう事か！

嵐 え？私が妊娠するかもしれないの？

聖 あ、でも、もし、私だったら、また出産するのか？あの激痛を！

刃 知ってますか？もし男性が出産できたとすると、

その痛みでショック死するといわれるくらい、

出産の痛みは想像を絶するそうです

烈火 それでも産もうとする女は偉大だぜイ
 嵐 あたし！刃の子を産みたい！身籠りたいです！子供を産みたいです！
 聖 男のわたしはもう嫌だ
 嵐 わたしになりませんように・・・わたしになりませんように・・・
 仙人 あたしになりますように・・・あたしになりますように・・・
 全員 さあ、母体を選ばれるよー
 弥勒 ゴクリ・・・
 全員 ひ・・・
 弥勒 ひ？
 全員 ら・・・
 弥勒 ら？
 全員 れ・・・
 弥勒 れ？
 烈火 いやいや無理無理
 刃 だよねー僕らは
 弥勒 うエ？
 刃 うん、刃
 弥勒 おっ、う、あ、うえ？え？僕？
 聖 刃決定？
 弥勒 うん決定
 聖 おっしゃー！やった！！刃！頑張れよ！
 嵐 ちィっ！くっそー！ニアミス！
 烈火 予想外だぜい
 仙人 陽の受け身となった体に入る事が多いよねー
 聖 陽の受け身？つまりは、男の受け身？
 刃 最初に言ったださいよ！心の準備が・・・
 嵐 刃が受け、だったの？
 烈火 白状するぜイ、とつても良かったぜイ
 刃 恥ずかしい！
 聖 そうかア！刃が！そうかア！
 刃 ふんだりけったりだー！
 弥勒 お邪魔しまーす
 受胎

刃 ああ・・・入った・・・
 聖 どうだ？刃？
 刃 いや、これと言って何もあいやー！
 仙人 陣痛が始まったよー
 刃 へめれめれめ
 聖 産婦人科に連絡！
 嵐 産婆さん呼んで！
 刃 あぶりがっことあぶりこつと
 烈火 オロオロくオロオロく
 仙人 産湯を沸かすよ
 刃 めれめれめれ
 烈火 泡吹いてるよオ
 刃 めれんげめれんげ
 嵐 刃、呼吸をしっかりと！セマンズ法よ
 烈火 そう、セマンズ法だ！って、刃は早漏じゃねえ！
 嵐 あ、間違えた！刃！ラマーズ法よ！るるるる、るるるる
 全員 るるるる、るるるる
 烈火 ちがうだろオ！ふざけんのもいい加減にしろ！
 一同 感情がこもってないぜエ、るるるる、るるるる、ほたるウ・・・
 嵐 じゅーん！るるるる、るるるる！
 刃 あくあくあああああくあく
 一同 どうさん、春の日はまだ遠いようで・・・
 嵐 あの歌を歌うとキツネがやってきます
 嵐 そのキツネが僕の中に・・・
 嵐 って、のーん！！！！キツネ！キツネが産まれた！
 嵐 コンコンコンコンコンココーン！ミンミンミンミンミンミンミン！
 仙人 呼吸法が違うよー、キツネ戻してー
 刃！やりなおし！やりなおし！はいく押し込んでー
 一同 はいく押し込んでー
 刃 ああっ！コンコンコンコンコンココーン！
 刃 なんて戻すんだコンチクシヨオー！
 聖 もう一回産めってか？ああ？もう一回産めってか！コンチクシヨー！
 仙人！球の子あたりからおかしくなってるんだ、助けてくれえ！
 聖 しょうがないね、はい、ヒッヒフー・・・ヒッヒフー・・・
 仙人 ヒッヒフー・・・ヒッヒフー・・・はい

一同 ヒツヒフー・・・ヒツヒフー・・・
刃 ああ！産まれる！産まれる！！
弥勒 呼ばれて飛び出た新たな命！
嵐 産まれた！
刃 おとうさん・・・嵐・・・
聖 頑張ったな、刃！
烈火 感動だぜイ
仙人 おめでとー、元気な・・・男と女の両方ある子だよー
嵐 両方？
仙人 両性具有のことー
烈火 男でもあるしイ
嵐 女でもあるって事？
聖 元気に産まれてきてくれただけで十分だ
刃 はい！
聖 命・・・約束は守ったよ・・・
仙人 この子が反魂の術を使えるからねー
聖 この子が反魂の術を・・・
刃 おとうさん、名付け親になつてもらえませんか？
聖 分かった・・・生まれながらに反魂の術を体得し、
男でもあり女でもある、まさに神の化身・・・
刃 弥勒・・・というのはどうだろうか
嵐 弥勒いい名です
烈火 素敵・・・あたしと刃の子・・・弥勒・・・
聖 俺と刃の子でもあるぜイ
嵐 わたしと嵐の子でもあるのか、まさに一族の宝だ！
刃 弥勒が、立ち上がる！
全員 さすが成長が早い！さあ、弥勒、大人になつたその声を聴かせておくれ
弥勒 ゴクリ
刃 はい、それでは今後の流れを説明します
聖 死んだ天命を生き返らせてから、紅蓮を倒して世紀末覇者になる聖
大人になつたリンとバットはいい感じにくっついて、
静かにさつていくケン、こうして物語はハッピーエンドを迎えます
嵐 素敵な未来！
烈火 お父さんが世紀末覇者？
聖 よかつたなあ親父イ！
うん、後半は北斗の拳だったぞ

仙人 一子相伝の技を授けよう

弥勒 ありがとうございます

烈火 これで怖い物無しだぜイ！

刃 そうだね、反魂の術も自在に使えるようだし

僕も産後の体調は良好だ！

聖 よし！山を下りよう

嵐 刃のおかあさまが眠る、紫雲英の草原へ

聖 いや、まずは嵐の村へ行き、村人を生き返らすんだ

嵐 お義父さま・・・ありがとうございます

刃 嵐、僕らは家族じゃないか

嵐 はい！

仙人 わしが送ってやろう 奥義！ボーイング747！

仙術で移動

聖 どうだ？弥勒よ

弥勒 これはまた、派手にやられましたね

嵐 烈火の炎が全てを焼き尽くしたあげく、紅蓮には逃げられました

烈火 もう好きだけ責めてくれイ

刃 大丈夫ですよ烈火、気にするなという嵐の心使いです

弥勒 では、やってみましょうか

臨・兵・闘・者・皆・陣・列・在・前

(りん・びよう・とう・しゃ・かい・じん・れつ・ざい・ぜん)

烈火 す、すげえエ法力だ！

嵐 これが反魂の術・・・

聖 いや、これは九文字の呪法 九字くじだ

法力を増幅させる密教の秘宝・・・この目で見れるとは・・・

弥勒 全ての仏の頂点に座する大日如来よ

虚空に浮かぶ死者の魂を今一度現世に呼び戻したまえ

我、悟りを求めし未来みらい仏 弥勒なり！反魂の術！

魂の帰還

嵐 ああ・・・感じる・・・みんなの魂が戻ってくる・・・

聖 あの世界から、一人、また一人
嵐 村長・・・
刃 村人A・B・C
嵐 ・・・村人アルファ、村人ベータ・・・村人オメガあ！
聖 彼らはそういう名前だったのか
嵐 村人ルートサン、村人パイアール二乗、
刃 村人サイン・コサイン・タンジェントにピタゴラス
　　そんなにいたんだ
嵐 村人プラトン、村人ソクラテス、村人アリストテレス
聖 3賢人までいたのか
刃 もはや天文学的数字ですね
嵐 村人エーユー、村人ソフトバンク、村人楽天モバイル
聖 ドコモを入れてやれー
刃 ひいふうみいよー、これで全員揃いましたね

復活

村人達 祝言だあ！！！！
村人A めでたアーい！
村人B おめでとウーう！
村人C こーんな、チンケな村にー、よーきなさったー
刃 生き返って良かったね！
嵐 みんな、お帰りなさい！
村人C ああ、たがいま、嵐もおかえり
村人達 嵐おかえり！
嵐 ただい・・・ただい・・・ただい・・・
村人C どうした嵐？
嵐 ごめんなさい、私はまだ、帰れません
　　この人達は、あたしを家族のように迎えて、愛してくれた
　　そのご恩に務めるのがあたしの義務なんです
　　まだ帰る事はできません
村人C 嵐それでいいんだよ、それがこの村の教えにある義の心だ
　　いっておいで、嵐
嵐 村人C・・・
刃 え？村人Cだったの？
村人A いってらっしゃい

村人B　　いつてらっしやい
嵐　　村人A B・・・
吉田茂　　嵐・・・いつてらっしやい！
嵐　　はああ！！うう・・・吉田茂・・・(涙)
聖　　いや、さっきいなかっただろソイツ
村人達　　いつてらっしやい！
嵐　　はい！嵐(らん)！いつてきます！
刃　　素敵な家族だね
嵐　　うん！
刃　　紅蓮を倒したら・・・一緒に帰ろう
嵐　　・・・うん

第4章　第2場(4―2)　　↳紫雲英の草原↳

聖　　そろそろ紫雲英の草原だ
命(みこと)・・・もうすぐ会えるよ・・・命(みこと)・・・
わたし達の家族が・・・あなたを迎える・・・あなたを・・・
刃　　おとうさん、着きましたね！
嵐　　ここがお母さまの・・・
弥勒　　なぜでしょう・・・懐かしい景色ですね
刃　　うん、ここが、母の眠る・・・紫雲英の草原です
烈火　　さあ、弥勒！ここで・・・え？・・・
刃　　どうした？
刃　　そんな・・・まさか・・・墓が・・・無い・・・
聖　　なぜ・・・いない・・・命(みこと)
烈火　　ここがそうなのか？このほじくり返された地面がお袋の墓なのか？
聖　　何があった？なぜいないんだ！命オオ！！

氷雨　　ああ、この氷雨は・・・あの時と同じ・・・身をも凍らす雨が・・・
刃　　氷雨が、吹雪に変わりやがった・・・寒イっ！ちくしょう！
烈火　　春も間近だつてのに・・・なんでこんなに・・・

吹雪・・・

そう吹雪よ

吹雪イ！！！！

あははは！

おめえだろ！これは！吹雪イ！！！！

あはははは！よく分かったねエ・・・烈火

分かるに決まってるだろうが！俺がお前の事・・・

分からねエはずねえだろうがア！

わア！キモイ！このおにいちゃんマジキモイんですけどオ！

吹雪イ！！！！母親を・・・命（みこと）をどうしたあ！！！！

う・・・こ、怖アいい！パパア！ママが怖いのおお！！

はっはっはっはー！

こ、この声は・・・

忘れもしねえ！

紅蓮！！

ああ！

刃！

紅蓮！

はっはっは！久しぶりだなあ！聖、我が息子達よ！

ふざけんなあ！

てめえなんかただの種でしかねえんだよオ！

親父面すんじゃねエよオ！

また焼き尽くしてやるぜエ！ほらよオ！！！！

烈火の炎

紅蓮　　ぐおおっ！さすが、我以上の炎よ・・・しかしよいのか？

このまま刃の母親まで火葬されてしまっても

せっかく蘇ったのになあ

刃　　なんだって？待て！烈火！・・・紅蓮！今なんと言った？

まさか・・・まさか・・・

よく気が付いたな、そう、裏・反魂の術よ

裏・反魂の術・・・

はっはっは！反魂の術を得たのは、聖！貴様だけではないぞ！

や、やはりか・・・ん？あれは？

弥勒

紅蓮

弥勒

紅蓮

弥勒

空中に華佗仙人

一同 か、か、か、華佗仙人！

仙人 (地上に向かって) ま、間に合ったー、こらー、紅蓮

悪用するなと言ったであろう

嵐 仙人さま！

仙人 うわー、馬が止まらないー

聖 華佗仙人よ！どういう事が説明しろ！

仙人 誰か止めてー

聖 構わん、そのまま話せ！

仙人 実はねー

霞の谷

仙人 はい、ここから、回想ね、霞の谷

ふう、聖も去って、仙人界でゆっくりできると思ったらー、紅蓮

久しぶりに会ったかと思えば、裏・反魂の術を教えろだどー、

そんなものを覚えてどうする気だー

人を蘇らせるに決まっておろう

分かった、とりあえず麻雀しようぜ

懐かしいなあ、よくこうやって麻雀したよなあ

で、なんで教えて欲しいの？

成仏した者を生き返らせる反魂の術に対して

ツモ

ぬう

冥府の亡者をそのまま蘇らせるのが裏・反魂の術

ロン

やーん

反魂の術は男女4人が必要だが

ポン

裏・反魂の術は男女2人でよいのでしょう

ポン、ゆえに、未完成な技に過ぎんだー、ツモ

ハク、ハツ、チュン、大三元、役満

ぬう・・・おのれー

仙人 もう脱ぐもの無いでしょー、おしまーい

紅蓮 我らも家族が欲しいのだ、聖に弥勒を与えたのであれば
我にも授けてはくれぬか？
吹雪 仙人は中立の立場なんですよ？えこひいきしないでよ
仙人 聖には赤子の肉体となるものがあつたからだよー
それが無いとできないよー
紅蓮 有る、我も赤子を持つておる
その双子の片割れがここに！
うおわあっ！！！！

赤子を吐き出す紅蓮

仙人 うわ、汚っ、ヌルヌル
紅蓮 我の、胃液よ
吹雪 わーいローションみたーい
紅蓮 滑るから気をつけろ。さあ、これで我にも権利があろう
仙人 うーん、でもなー、お前、悪用しそっだしなー
紅蓮 昔の借りを忘れたか？
仙人 あー、それ、今言う？しょうがないかー
紅蓮 セガサターン借りたままだったなー
貸してない
仙人 スーパーリアル麻雀ができる名機だったなー
紅蓮 覚えてない
仙人 PVで終わっちゃったのが残念だなー
紅蓮 そうだったかもしれない
仙人 まあ確かに、無敵だわ、死ねないわ、成仏できないわじゃ
寂しくて家族も欲しくなるかー
紅蓮 黙れ
仙人 お前も大変そっだしなー、分かったよー
紅蓮 その代わり悪用するなよー
では
吹雪 儀式スタート！
仙人 モクモクモクモク
吹雪 ああ・・・この淫らかな霧は・・・
仙人 魚焼いてるだけだよー
吹雪 げほげほげほ
紅蓮 ちゃんとやれ！

仙人 やってるよー、ほれー、モヤモヤモヤモヤ

吹雪 ああ・・・この淫らな霧は・・・

紅蓮 おお、これはたまらん・・・

仙人 ドライアイスだよー

吹雪 こ、呼吸が、呼吸が・・・

紅蓮 殺すぞ貴様！

仙人 違うよー、淫らな霧の儀式のために、

必要なギシギシってきしむベットの所で優しさもちよるー、

ための必要な儀式なんだよー

分かったからさっさとやれ！

紅蓮 出たよー淫らな霧ー

仙人 おお、これは間違いなく・・・

吹雪 ああ、素敵・・・

紅蓮 よいな吹雪よ

吹雪 はい・・・紅蓮。パパ・・・お召し上がりくださいませ・・・

紅蓮 愛しておるぞ、娘よ

吹雪 わらわもです、パパア・・・

紅蓮と吹雪が交わる

紅蓮 いくぞオ！オラオラオラオラオラオラオラ！

吹雪 WAAAAAAAAANNA BEEEEEEEE(ワアーナビィー)！

紅蓮 無駄無駄無駄無駄無駄無駄あ！

吹雪 WAAAAAAAAANNA BEEEEEEEE(ワアーナビィー)！

紅蓮 ボラボラボラボラボラ・・・ボラーレ・ヴィーア

吹雪 ヨーアテルワラワーンワラリリリリワーン

ソテミワチュワーンワチュリリリリワーン

産まれるウ、産まれるウ、産まれるウ、産まれエる

産まれるウ、ジャステインビーバー！

紅蓮 時は動き出す！

出産

吹雪 産まれた、吹雪、赤ちゃん産んでママになっちゃった

仙人 はいチーズ！

はい、ここで回想終了ね。という事がありましたー

聖 脳内映像が追い付かない！
烈火 おい！待てよ！って事は、てめえ娘とヤツたつてのか？
吹雪を・・・吹雪を孕ませたのか畜生がア！！！！
紅蓮 はっはっは！こうして生まれたのが、裏・反魂の術を持った息子よ！
いでよ！閻魔（えんま）そして、我が妃 天命よ！

閻魔が現れ、天命（閻）の胸元に寄り添う

天命（閻） はい・・・紅蓮様・・・

閻魔 うふうふふ

聖 み、みこと・・・なぜ・・・

その姿は、その青黒い姿はまるで亡者同然ではないか！

天命（閻） 聖・・・お久しぶりですね・・・（聖に口づけ）

聖 う・・・むっ・・・

刃 は、早い・・・

聖 う、ウジ虫・・・ゲジゲジ

天命（閻） 愛してくれますか？聖・・・これでも愛してくれるー？！

聖 うあああ！何があつた？！何があつたのだ！

天命（閻） 聖、ごめんなさいね

閻魔 うふふうふ・・・うふふふふ

天命（閻） あらあら・・・甘えん坊ねえ・・・閻魔

閻魔 うふふふふ、もう一回しよう、もう一回

天命（閻） ああ・・・上手よ・・・閻魔

聖 な、な、なにをしている・・・貴様・・・

紅蓮 はっはっは、これが裏・反魂の術よ

弥勒 死体と交わる事によって死者を蘇らせる技・・・

それが裏・反魂の術・・・

烈火 うええ・・・死体とヤルって事かいイ

刃 し、死姦・・・

仙人 すまんなー、こうなるとはねー

紅蓮 貴様は用済みよ！くたばれ！おいぼれ！

仙人 こオ！

全員 仙人様！

仙人 こオ、こオ、こんにやく畑でフルーツとーれーたー

紅蓮 おのれえ！はあ！

仙人 っざばあ！

全員 仙人様！

仙人 っざばあ・・・っざばあ・・・ざわわ（広い、さとうきび畑は）

弥勒 全くきいていない・・・なんてすごい法力なんだ・・・

紅蓮 おのれ、おいぼれが！

仙人 あ！金曜ロードショー『風立ちぬ』の再放送の時間だ！トウ！エアロスミス！

聖 仙人よ何処へ行く！

飛行機

仙人 飛行機ぐもー

刃 お前絶対わざとやってるだろ！

紅蓮 二度と現れるな！

烈火 よそ見してんじゃねえぞ！紅蓮！うらア！

烈火の炎

紅蓮 ぬうつ！吹雪よ！

吹雪 はっ！

吹雪

烈火 ちくしょう！俺はコイツの冷氣には勝てねエ！

吹雪 イ、お前、これでいいのかよオ！

なんで俺達まで争わなきゃいけねエんだよオ！

弥勒 ここは弥勒にお任せを

現れよ！不動明王！

不動明王の炎

紅蓮 うぐあああ！！

吹雪 あああっ！！！！

紅蓮 不動明王の炎だとおお！！！！

吹雪 ああ！熱い・・・熱いよおおお！

烈火 ああ、吹雪！弥勒・・・やめろ、やめてくれえ！
刃 よし！弥勒！いくぞ！僕がその刃となる！

弥勒 はい！兄さん！黒龍を纏いし究極の剣！

刃 『倶梨伽羅の剣』（くりからのつるぎ）

紅蓮 うおおおおお！

刃&弥勒 『不動剣』（ぶどうけん）

攻撃の中、吹雪を盾にする紅蓮

紅蓮 吹雪よ！

吹雪 あ！な、何を・・・

聖 吹雪を道連れに・・・紅蓮！貴様あ！

烈火 吹雪イ！！

烈火が立ちふさがり、不動剣をくらう

烈火 ぐあああ！

全員 烈火あ！

刃 そんな！烈火！どうして！

吹雪 烈火！あんた・・・

烈火 吹雪イ・・・もうやめようぜエ・・・こんな争い・・・

ふ、ぶぎイ・・・

聖 烈火あ！！！！

紅蓮 閻魔（えんま）よ！行くぞ！

閻魔 うふうふう 漆黒の雨

『アシッドレイン』

酸性雨

嵐 ああ！痛い！

弥勒 うふう！とがった石が、雨とともに無数に・・・

聖 とがった石・・・

刃 ぐああああ！

聖 刃！こ、これは酸性雨！

刃 うああああ！

嵐 刃あ！

聖 弥勒よ！結界を張れ！刃が溶けてしまう！

弥勒 はい！宝玉よ！

宝玉の光

弥勒 全方位へ散らばれ！

聖 七色の・・・宝石・・・

弥勒 いでよ！十二神将！（じゆうにしんしょう）

我らを守護せよ！

結界

空より紅蓮の声

紅蓮 聖よ！汝と我との争いも、今や一族同士の争いにまで

大きくなったものよ

だが、これからはさらにその数が増えるであろう

修羅界を二つに分けた聖戦！

正義の軍配はどちらに上がるのか、楽しみにしておるわ！

はっはっはっはっはー

聖 正義の戦いだと？

烈火・・・ああ・・・烈火よ・・・

これが・・・こんなものが正義であるはずがない！

爆発

刃 あの山から煙が

聖 あの方向は成仏した修羅の眠る墓地だ

嵐 そんな

弥勒 ああ・・・青黒い人影が次々と現れていく

刃 紅蓮が爆発で墓をほじくり

弥勒 閻魔がその死体を犯しているんです
．．．裏・反魂の術．．．

閻魔による死姦

閻魔が交わる度に、次々の修羅の亡者が生まれていく
閻魔と亡者の舞踏

紅蓮 よいぞ閻魔、それではここに、我の城を築こうか
空まで伸びる遊郭の天守閣を！はあ！

天守閣浮上
遊女達が次々とやってきて、入り乱れて踊る

紅蓮 さーて、吹雪、お前も遊女として働くがよい
吹雪 はい．．．パパ．．．お望みであれば．．．

紅蓮 お前なら天命と一二を争う人気の遊女になれるぞ
さて、天命よ

天命（閻） はい、紅蓮様

紅蓮 この天守閣から見下ろしながらのまぐわいは絶景だぞ

天命（閻） はい．．．どこでも、どの場所、どの位置、どの角度、どのタイミング．．．
紅蓮 うらあ！

天命（閻） ああ！ああ！紅．．．蓮様ああ！！

吹雪 ．．．．．

閻魔 ねえ、ママ、本当はやり過ぎだって思ってるでしょ？

吹雪 え？．．．

閻魔 今、ママは迷ってる、僕をね、産んで．．．本当に良かったのかって

吹雪 そんな事あるわけないでしょ、頑張って産んだのよ

閻魔 でもね、でもね、あんなに冷たかったママがね

今なぜか暖かいの、怒りは熱くて、時には冷たくて

もっと冷たいのは無関心．．．なのに、今のママは．．．暖かい

吹雪 黙りなさい．．．閻魔

閻魔 冷たい人は迷わないよね、だって冷たいんだもん

迷う人はね、きつと、暖かいから迷うんだね

ママみたいに……(吹雪の胸元に手を伸ばす)

吹雪

その手でわらわに触るな!

閻魔

その手?……『その手』ってどの手?この手?

この手なら、『この手』なのに、その手、の、『その』っていうのは……

ああ……ママ……僕の事を汚らわしいと思ってるんだ……

僕だってね、本当は暖かいものに触れていたいんだよ

生まれる前からずっと……ずっと

わらわも……わらわだって、生まれる前から……本当は……

紅蓮

吹雪よ!まもなく聖がやってくる、お前は城の中腹に布陣しろ、

そして……

吹雪

皆を近づけぬように、凍らせると……

紅蓮

いや……聖一人でよい

吹雪

聖ママを?……かしこまりました

紅蓮

閻魔よ、お前は私の切り札だ、共に天守で過ごそうか

閻魔

うふ……はい、パパ……今行くね……あああ、コテン……転んだ……抱っこ

紅蓮

気にするな、早く来い

閻魔

うふ……ああああ……抱っこ

吹雪

自分で立ちなさい

閻魔

うふ……スクリ……ねえ……ママ

どうして紅蓮。パパが、聖ママを近づけさせるなど言ったか分かる?

それはね、紅蓮。パパは男にも女にも殺されない体を持っているからだよ

でも……聖ママは、女なのに男……男なのに女……

どっちでも無いからなんだよ

吹雪

そんな事を何故、わらわに?

閻魔

うふ……うふふ……うふ……

第5章 最終決戦

荒野にいきなり現れた遊郭城に驚く一同

刃 あんなに大きなお城が一瞬で・・・
弥勒 とてつもない亡者の数が・・・城のふもとに・・・
嵐 命を・・・なんだと思ってるの・・・あああああ！！！！！！

惨劇の嵐

嵐 許さねえ！許さねえぞ！紅蓮！閻魔！ちくしょうー！
今すぐぶっ殺してやらあ！！！！！！

刃 だめだ！嵐！今行ったら殺される！

嵐 そして！君までも犯され、紅蓮のしもべとなってしまふ！
離せえ！うアあああああ！！！！！！

刃 嵐！やめてよお！！！！！！

華佗仙人 落ち着けー、落ち着けいー、嵐

保健室のカーテン「シヤー！」
アルコール消毒「シュッシュ」

イソジンでうがい「ガラガラガラ」
あたたたたっ

嵐 ああああ！あああ・・・あああ・・・ああ・・・あ

鎮まる嵐

刃 ふう・・・

聖 華佗仙人、その技は？

華佗仙人 心が落ち着くツボを、「あたたたたっ」て言う間に100回押したよー

聖 そ、そんなに・・・さすが医術を知り得た

華佗仙人 仙人だよー

嵐 仙人様・・・いつもありがとうございます

刃 嵐・・・ごめんよオ・・・僕がもっと強ければ・・・

聖 いや・・・すべては・・・わたしが・・・

弥勒 ははっ、どいつもコイツも・・・

聖 み、弥勒？

弥勒 いえ・・・もう・・・これで終わりにさせましょう・・・

法力

弥勒 反魂の術

烈火の蘇生

烈火 う・・・お、俺は生き返ったのか？

聖 烈火・・・良かった・・・弥勒！ありがとう・・・

弥勒 まだです・・・阿あみだにょらい弥陀如来よ

西方極楽浄土へ旅立った修羅の魂を、今一度、現世に導く事を許したまえ

九字の秘宝

弥勒 臨・兵・闘・者・皆・陣・列・在・前

(りん・びょう・とう・とう・しゃ・かい・じん・れつ・ざい・ぜん)

聖 ああ・・・そ、その青白い光は・・・弥勒！お前の命の炎か！

弥勒 ははっ、これが弥勒の役目です

反魂の術！

魂の帰還

聖 ああ・・・この光は・・・修羅が・・・満たされた修羅達の魂がわたしの元へと集まってくる・・・

その数・・・千・・・二千・・・三千・・・はっ！

弥勒！やめろ！これ以上は、お前が持たない！やめろ！もういい！

止めろ！反魂の術を止めろ……

彌勒 ははっ……遅えっつーの……

聖 彌勒……お前はなぜ……命を燃やしてなお……笑っている？

彌勒 ははっ……いい子ちゃんのフリは疲れるだけですよ……

良かった……おとうさん……

止められるように……なっただね……

聖 今からでも遅くはない！止めろんだ！

彌勒 そんなに叫んで……大丈夫ですか？

命を燃やし尽くしてきたのは、あんたも一緒だろ

聖 え……ううう！！！！うあああ！！！！

幻覚

聖 ああ……ああ……ああ……暗い……出口は……どこだ……

こんな……こんな場所に……こんな場所に……お前は一人で……

僕も止めてよ……お父さん

どこだ

子供A お父さん、早く

子供B 僕……

聖 どこにいるんだ

子供B 生まれちゃいけなかったのかな……

触れたかったんだよ……何度捨てられても……

それでも触れたいんだよ……僕も……命に触れていたいんだよ

急いで！急げよ！

子供A お父さん……僕を……止めてよ……うふ……

聖 はやまるな……

子供B 僕を止めてよ……お父さん……うふ……うふふふふ……ウザウ！！！！

自らの首を吊る子供B

聖 ああああ！私は・・・私は・・・止められなかった・・・
自ら死を選ぶ我が子を・・・止められなかった・・・
だから・・・だから私は・・・この世界に堕ちたのだ・・・
死んでも、死んでも、何度死んでも許されぬ！
この世界に自ら墜ちたのだ！

天命 それでも・・・わたくしは・・・あなたのそばに・・・
聖 ずっと・・・一人でした・・・
天命 だってあなたはいつも・・・
聖 ずっと・・・一人で・・・
天命 自分を責めてばかり・・・
聖 ・・・・寂しく・・・震えていました・・・
天命 ・・・・女で間違えて男に・・・
聖 ・・・・雨の日は傘をさしません・・・
天命 ・・・・男で間違えた次は・・・それですか？・・・
聖 ・・・・本当は・・・迎えにきて欲しくて・・・
天命 ・・・・もう、不器用なんだから・・・
聖 ・・・・いつも・・・いてくれたんですね・・・
天命 ・・・・いつか・・・自分を許してあげてくださいね・・・
聖 ・・・・ずっと・・・帰りがかったんだ・・・
天命 ・・・・ほら、迎えにきましたよ

弥勒 ・・・・おとうさん・・・一緒に行こう
聖 ずっと・・・言えなくて・・・ずっと伝えたくて・・・ずっと触れたくて・・・
ずっと・・・ごめん・・・って・・・
天命 ずっと・・・届いていますよ・・・
閻魔 おとうさん・・・待ってるよ・・・早く・・・迎えにきてね

いつかの記憶は明け、現世

弥勒 反魂の術・・・完了・・・しました
聖 ……ははっ・・・そうか・・・そういう事か・・・弥勒よ・・・
弥勒 ……おとうさん・・・目覚めましたか？
聖 ああ・・・いろいろな・・・暫く！
弥勒 ははっ！毎度・・・暫く！
聖 ははっ
弥勒 ははっ
聖&弥勒 ははははは
弥勒 では・・・なぜ、今、弥勒がこれ程の修羅を集めたのか
どうかお察し下さい
聖 ……紅蓮を滅ぼす唯一の存在・・・父上、聖・・・
……分かった・・・弥勒・・・生き返った修羅達よ・・・
私も覚悟を決めよう・・・
弥勒 はい、この者達は、あなたの命令に従います、さあ！打倒紅蓮の号令を！
聖 うむ、では！皆の者！全員！家に帰れ！
弥勒 えっ？
聖 胸を張って「ただいま」と言うように！
弥勒 あっあの・・・
聖 家の無い者は家族を作れ！それが・・・それが生き返った者の使命だ！
文句のある奴は全員かかってこい！ぶっとばしてやる！
烈火 この人何言ってるんだ？
刃 支離滅裂ですね
聖 命を大切にしろってるんだ！死んでる暇があったらなあ！家族を守ってみろや！
刃 家に帰れボケ！お前もじゃダラア
弥勒 ああ、せっかく集まった修羅達が家路に着いていくー
ははっ！馬っ鹿じゃねーの・・・あなたという人は・・・本当に・・・
損な生き方しかできない人ですね、お父さん
烈火 そんな親父が大好きなんだろう？
弥勒 はい、だから、いつも、お父さんの子供でいたいのです
刃 みんな、同じなんだね
嵐 素敵な家族
華佗仙人 わしはどーすればいい？
一同 仙界へ帰れ！
華佗仙人 ありがとーう、去り際にベホマッ
聖 完全回復！よっしゃあ！これでスッキリした！
わたし達、家族の問題は家族で解決しよう！

わたし達は戦いに行くのではない・・・
わたし達はこれから・・・家族を救いに行くのだ！
はい！

最終決戦

烈火 おっしやあ！オーラス行くぜエイ！

刃 嬉しそうだな！烈火

烈火 これが喜ばずにいられるかってんだよオ！

刃 僕もだ！じゃ、先に行かせてもらうよ！

烈火！吹雪と仲直りしろよ！

聖 先陣を切ったのはやはり、長男の刃だった。

私はこの子に何度も助けられてきた、

この子がいなければ私はここまで来る事はできなかっただろう、
敵陣に突入する時、刃はわたしにこう言った

刃 おとうさーん！僕の一番の幸せは、あなたに育ててもらえた事です
ありがとうございます！

聖 そして、娘の嵐も、わたしに一礼した後、にっこりと微笑み刃のあとへと続いた
轟音と共に巻き起こる刃の嵐、二人が自分で決めた道、私は二人が作った道を、
振り返る事無く走り続けた

刃 みんな、ごめんね、この景色はもう、あの時に視えていたんだ・・・

嵐 うらああああ！！！！！！

刃 嵐、嵐、さあーおっばいじめようぜー

刃の先陣

刃 我・・・刃

我・・・鋼なり

我・・・聖の子、最後はその刃、家族には向けず

我・・・拳のみで・・・全員かかってこいやア！

うおおおおお！

修羅との殴り合い

刃　　へい！兄弟！軽い！軽いなあ！

殴る・時は・なあ・もつと・体重かけんだよ・オラア！

嵐　刃、あなたは、孤独な人、誰かのために孤独を選ぶ人

だからあたしは、付いて行こうって決めたんだよ

お母さん・・・みんな・・・生きるのって・・・

生きるのってメツチャ楽しいね！ゴラア！

次々と修羅に刺されていく刃と嵐

刃　　これが・・・

嵐　これが・・・

刃　　僕の

嵐　あたしが選んだ

刃　　あなたから教わった

刃&嵐　生き方です！

刺されながらも拳のみで修羅を一掃する刃と嵐

刃　　嵐、見上げてごらん・・・

嵐の後は・・・どこまでも澄み渡る青空だ・・・

この世界に・・・生まれてきてよかった・・・

刃・・・みんな・・・おやすみなさい・・・

聖　わたしが敵陣を通り抜けた頃、ふもとの大地に鳴り響いていた

轟音はやみ、亡者が一掃された証の静寂が訪れ

刃と嵐は手を取り合ったまま、二度と動く事は無かった・・・

そして、次に動いたのは、烈火だった

烈火の炎

烈火 うおおおオ！！！！吹雪イ！！！！いくぜエ！！！！
バーニングウラアーヴ！

吹雪 烈火ア！生きてやがったかア！こオのくたばりぞこないがア！！！！
イツツ！クールウー！！！！

烈火 親父イ！！いまだア！行けえ！！！！

聖 城の途中へ来た時、降りしきる吹雪へ烈火が突入し、風穴を開け

わたしに道を作ってくれた、この熱くも青白い炎は、あの時に見た命の炎
烈火はこの時すでに燃え尽きていたのだという事は分かっていた
命が作りあげた熱き炎の道

二人の間を通り抜ける時、わたしは確かに聴いたんだ、
烈火と吹雪の声を……

吹雪 聖ママア！ずっと言いたかったんだけどオ！

……産んでくれて、アリガト☆……

烈火 カワイイとこ……あんじゃねーかア……吹雪イ！

吹雪 紅蓮パパ一人ぼっちで、かわいそうじゃない……

娘一人くらい、付いて行ってあげないと

烈火 はっはっはー、知ってたよお！嫌な役目やらしちまったなあー！ふぶきイ！メンゴー！

暑苦しいなあ！ちくしょう……わらわ……子供に……閻魔にひどい事しちゃったの……

烈火 その手で触れるなって……本当に汚れていたのは、ばらばの方だぞでい……

最初から誰も汚れてなんかいないぜエ！

吹雪 アッチイんだよ！触るなあ！

純粋つてのはきつと、善悪で分けられない心をいうんだろうなア

吹雪 離せ！凍っちゃうでしょ！凍ると、あんた

吹雪 死ぬんだよ！

烈火 迷っちゃまったんだ

吹雪 そうよ！いけない！？

烈火 人生！一回！迷いましょう！迷って、けがれて、すっころんだところ！はいそこ！

そこがスタートラインなんですよ！

吹雪 うるせえ！アホンダラ！

烈火 迷わなきゃロックじゃねーぜエ

吹雪 コイツ、うぜえ！

吹雪 ずっと二人で歌おうぜエ・・・なんなら・・・閻魔も・・・誘ってよオ・・・
烈火 それが嫌だっつってんだよ！

あんたは・・・あんたは最後までわらわを見放さない！

それがうぜえってんだよ！

誉め言葉あー

吹雪 自分が、どんなに汚れてんのかって、知らされんのよ！

迷惑なんだよオ！

烈火 あー、これ・・・無理なやつ・・・う・・・う・・・

吹雪 はあ・・・はあ・・・やっどくたばったかよ！

ああ・・・うぜえ

烈火 ふ・ぶき・・・

吹雪 きもい・・・

烈火 ふ・・・ぶ・・・き・・・最後に・・・もうホント最後に・・・一言・・・いいかな・・・

吹雪 うざい・・・でも・・・

烈火 カラオケ・・・行かない？・・・

吹雪 でも・・・あったかい・・・

烈火 ずっと・・・一緒・・・吹雪・・・

吹雪 あったかい・・・太陽みたい・・・

倒れる烈火と吹雪

聖 永く続いた極寒の雪を溶かすのは灼熱の炎ではなく、春の日差し

烈火は吹雪の身体を優しく包み込み

二人の身体はゆっくりと消えていった・・・が、二人の残した命の雫は

川のように城のふもとへと下り、刃と嵐の眠る静寂の大地へと流れ、

緑の草花が生まれていった

沢山の生命がわたしの身体を後押しし、生きる力が溢れてくる、

こんな事に今まで気付かなかったのか

わたしは・・・わたし達は一人じゃない

たくさんの命、多くの家族によって生かされているんだ

そして、紅蓮の待つ天守閣へと迫った時、あたりは闇に覆われ
閻魔が現われた

閻魔 うふうふうふ・・・待ってたよ、ずっと待ってたよ・・・

聖 あの時・・・私があきらめずに助けていれば、閻魔と弥勒は今頃、
仙界で静かに眠っていたのだろうか

弥勒 いえ、あれが我ら双子の運命さだめだったので

弥勒は・・・救う事を選び・・・

閻魔は・・・捨てられる事を選んだ・・・

聖 なぜだ！なぜそれを選ぶ？捨てられる物をなぜ集める？

捨てられる運命をなぜ選ぶのだ？閻魔！

天命（闇） うう・・・うう・・・

聖 命・・・

閻魔 泣かないで・・・泣かないで・・・

だって・・・おとうさんが、それを拾わないと・・・進めないから

聖 わたしのため・・・

天命（闇） 次はどうか・・・拾ってあげてください・・・その時・・・きっと・・・

聖 ・・・・わたしは・・・自分を許せるのだろうか・・・

そのために・・・皆、何度も、何度も、私に逢いにきてくれるのか・・・

わたしのそばにいてくれるのか・・・

閻魔を抱きしめる聖

閻魔 あたたかい・・・トクン・・・トクン・・・

聖 冷えたその体をあたためようと思いきや・・・

お前も十分にあたためたかいはないか・・・閻魔・・・

天命（闇） ああ・・・ああ・・・ああああああ・・・

弥勒 この瞬間のために・・・

聖&閻魔 また・・・生まれてきたよ・・・

聖 ずっと・・・ずっと・・・こうして・・・

閻魔 大丈夫、寂しくなかったよ・・・信じていたから

おとうさんよりも・・・大人だなあ・・・おとうさん、ずっと寂しかったのに・・・

弥勒 閻魔、時間だよ・・・

閻魔 うん・・・コテン・・・うああ・・・うふ・・・おとうさん・・・抱っ・・・

聖 よいしょ・・・

閻魔 うふ……

聖 ……分かっていたよ……分かっていた……夢は……見続けられないものだなあ……
弥勒 ははっ……子供だねえ……おとうさん

聖 役目とは……覚悟のいる仕事だなあ……みんな……みんな……大したものだなあ……
弥&閻 ねえ、詩を作ったよ、聞いて

弥勒 炎は生命いのちの唄だろう 消える事なく こみ上げる想いは きっと 生きた証

閻魔 土へと皆 還るのだろう 夢の先 続いてゆく 続いてゆく 僕らの想い

聖 素敵な詩だね……ありがとう……また逢えたら、語ろう、歌おう……

弥勒 弥勒の……最後の力です……

閻魔 僕も……行くよ……あの頃へ……

弥&閻魔 反魂の術

反魂の術で蘇る天命

聖 ……

天命 聖……

聖 ……紅蓮がくる……もう少しだけ待っていてくれ……役目を果たしてくる

紅蓮 優男が……我も見くびられたものよ

聖 紅蓮……お前に罪は無い、有るとすれば私が自ら選んだ

この世界に……全ては私に罪があるのだ、お前も……皆……
私が作り上げた幻影の被害者なのだ……

紅蓮 神にでもなったつもりか聖よ、それを傲慢と呼ぶのだ！

紅蓮の槍が聖を貫く

紅蓮 なぜかわさぬ？

聖 自分が……情けない……

紅蓮 なら死で償え

聖 一人が・・・怖かった・・・

紅蓮 臆病者めが

聖 今は・・・怖くない・・・自分が・・・卑怯な人だって事に・・・気付いたからもう痛くないし・・・怖くない・・・

紅蓮 大人のフリをしたところでガキはガキのままよ

聖 私達の子供は、自ら罪を背負った・・・

私は叱りつけたのだ・・・罪の意味も知らぬのに・・・

紅蓮 皆、我の子らしく正直な生き方をした

聖 ……思えば・・・お前が一番・・・自分に正直だったのだな

紅蓮 私は悪、私は迷わぬ、悪は悪を貫くまで、それが我の役目！

紅蓮の攻撃を聖は平然と受け止める

天命 この方は・・・ずっと

聖 そこまでの責務と信念が・・・生み出すものはなんだ

紅蓮 それは強さよ、ゆえに我有り

紅蓮の攻撃を聖は平然と受け止める

聖 その強さとは・・・うっぐっ・・・何か？

天命 この方もずっと一人だったのです

紅蓮 強さとは、強さとは・・・苦しみよ！

鍛える喜びも、進化も無ければ希望も無い、絶対的な強さ、それは無に等しい！
永遠に無である事、それが我の役目！！！！

紅蓮の攻撃を聖は平然と受け止める

聖　その苦しみを・・・うっぐ・・・背負わせたのは全て・・・私の・・・うっぐ・・・
・・・私の幻影か

幻影をかき消すように放った拳は紅蓮を吹き飛ばす

紅蓮　ごっふ・・・ははは・・・強さを得た感想はどうだ聖？酔いしれる！

幻影をかき消すように放った拳は紅蓮を吹き飛ばす

聖　うっぐ・・・げっぶ・・・

紅蓮　うっぐ・・・げっぶ・・・そして・・・快樂の麻痺が次々に生み出すのは・・・破壊！

幻影をかき消すように放った拳は紅蓮を吹き飛ばす

天命　もう、これ以上は・・・

聖　おっぶ・・・げっぶ・・・

紅蓮　おっぶ・・・げっぶ・・・その手で我を滅ぼした後・・・
貴様に待っているのは強さよ

天命　ダメめえええ！！！！

紅蓮　そして・・・我・・・

天命　それ以上はダメめええええ！！！！

聖　命、いい

紅蓮　つまり・・・我よ・・・

聖　紅蓮・・・我は・・・

天命 聖イ!!!

紅蓮 貴様は我になるのだ！かつて・・・かつて我がそうであったように！
はは・・・はは・・・ははははは！
幻想も幻影も・・・全ては・・・

天命 絵空事

聖と紅蓮の動きが止まる

天命 ……その幻影は・・・絵空事・・・目を閉じた子供の絵空事
その目に映ったのならば・・・それは・・・光・・・

紅蓮 ああ・・・そうだな・・・母よ・・・

聖 紅蓮・・・

紅蓮 その幻影も完結を迎えるようだな！さあ我よ！我に止めをさすがいい！

聖 我、紅蓮よ・・・本当に・・・大変だったなあ、辛かったよなあ・・・

紅蓮を抱きしめ口づけする聖

聖 我は・・・我を・・・私は・・・私を・・・大切に想う

紅蓮 聖よ・・・満たされるとはこういう事をいうのか・・・

我には・・・似合わぬ・・・迷わぬ・・・我は迷わん・・・

この幻影の世界を下から持ち上げ、支配しよう、怒りがたまれば揺らし
幾度となくこの世界にある傲慢な命を洗い流してくれる

聖 洗い流すのであれば構わない・・・人はいつでも過ちを犯すものだ・・・
その時に叱るのは親であり、友であり、大地でもある

それでも・・・命いのちは生きる事を諦めない

紅蓮 では・・・貴様はどうする

剣を拾い天へ掲げる聖

聖 わたしは・・・命みことと二人で空になろう

お前が大地を支え、わたし達は天空から見守るのだ
それが・・・私の役目だ

紅蓮 この天守閣はくれてやる・・・

聖の手を剣ごと握り、振り上げ自らに刺す

聖 ああ・・・血が・・・血が・・・止まらない・・・紅蓮

成仏する紅蓮

聖 紅蓮の魂は、大地を揺らしたあと、高く舞い上がり、天空を駆け抜けた
まるで熱き火の鳥のように、蒼く、赤く瞬くその姿は・・・
この世界そのものを描く・・・花鳥風月・・・

その場に倒れる聖

天命 聖・・・

聖 ふわー・・・命ー、ひざまくらー

天命 ふふ・・・はいはい・・・

天命のひざ元で眠る聖

天命 泥だらけですね・・・

聖 うん、頑張ったからね・・・

天命 ボロボロですね

聖 みんな程じゃないよ・・・

天命　クタクタですね・・・
聖　永かったからね・・・
天命　おつかれさま・・・天へと上りますか？
聖　もう少し・・・このまま・・・
天命　しょうがないなあ
聖　あ・・・紫雲英の香り・・・ふもとでは紫雲英の花が咲き始めた・・・
天命　もう春なんですねえ
聖　暖かいなあ・・・いつだったかなあ・・・みんなで過ごしたね・・・
天命　今までも・・・これからも・・・
聖　いい香り・・・いい眺めだ・・・

M・・・創世記

聖　ここから、森羅万象、全ての事柄が始まった
我、堕ちて　修羅と君が世　淫雨　されど紫雲英よ　万象の頃

『創世記』

作詞・・・輪島貴史

作曲・・・先山柴太郎

編曲・・・あいあい

水から生まれたのだろう　僕たちは

鳴き声は海流となり その涙は湖（みずうみ）に

風と空へ行くのだろう 運ばれて

種は実となり花となり 太陽の導くままに

炎は生命（いのち）の唄だろう 消える事なく
込み上げる想いはきつと 生きた証（あかし）

土へと皆（みな） 還るのだろう 夢の先
続いてゆく 続いてゆく 僕らの想い

ありがとう また逢えたら 語りましょう
父よ 母よ 兄 姉 妹 弟よ ありがとう

生きてゆく 生きてゆく 全ての友よ ありがとう
生まれゆく 生まれゆく 私はずっと その傍に

おしまい